

I 工 事 概 要

1, 工 事 場 所

光市大字立野1705番1

2, 建 物 概 要

No.	建 物 名	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
1	管理棟	S	2			トイレ改修工事
2	便所棟	W	1			トイレ改修工事

3, 工 事 種 目 (○印の付いたものを適用する。)

工 事 種 目	建 物 No.				工 事 種 目	建 物 No.			
	1					1			
空気調和設備					衛生器具設備	○			
暖房設備					給水設備	○			
換気設備					排水設備	○			
排煙設備					給湯設備				
自動制御設備					消火設備				
					ガス設備				
					浄化槽設備				

4, 設 備 概 要

空気調和 冷暖房設備	方式等	・ 空気調和 (・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ・ パッケージ方式 ・ ファンコイルユニット ・ ファンコイル、ダクト併用方式) ・ 直接暖房 (・ 温水 ・ 低圧蒸気) ・ その他 ()
	主要熱源機器	・ 鑄鉄製ボイラー ・ 鋼製ボイラー ・ 温水発生機 (・ 真空式 ・ 無圧式) ・ 木質バイオマスボイラー (・ 真空式 ・ 無圧式) ・ チリングユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 遠心冷凍機 ・ 吸収冷凍機 ・ 吸収冷水機 ・ 吸収冷水機ユニット ・ パッケージ形空気調和機
	換気設備	・ 機械換気 (・ 第1種 ・ 第2種 ・ 第3種)
	排煙設備	・ 機械排煙 (・ 有り ・ 無し) 適用法規 (・ 建基法 ・ 消防法)
	自動制御設備	・ 自動制御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・)
	給水設備	○ 市水 ・ 井水 ○ 水道直結方式 ・ 高置水槽方式 ・ 受水槽加圧ポンプ方式
排水設備	方式	○ 自然流下 ・ ポンプ排水 (・)
	放 流 先	・ 公共下水道 (・ 分流 ・ 合流) ○ 浄化槽 ・ 建築雨水樹
	給湯設備	・ 局所式 ・ 中央式 (・ 重力式 ・ 強制循環式) ・ 熱源機器 (・ 瞬間湯沸器 ・ 鋼製ボイラー) ・ 熱源 (・ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)
	消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水 ・ スプリンクラー ・ 消火器 ・
	ガス設備	・ 都市ガス (種別 : ・ MJ/m ³ (N)) ・ 液化石油ガス
	浄化槽設備	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理

II 特 記 仕 様

一般事項

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」による。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- 特記仕様の適用方法
(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は○印の付いたものを適用する。・印は適用しない。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と⊗印の付いた場合は共に適用する。

種目	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	① 機材	イ) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書の規定するもの又は、これらと同等のものとする。 また、製造業者等が定められている機材については、製造業者指定名簿によるほか、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ロ) (社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」により所要の品質・性能を有することの評価を受けた機材等を使用する場合は、評価書の写しを以て標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することが出来る。 ハ) 形状・寸法等が設計図と異なる場合は、他に支障を生じない限り監督職員と協議の上処理するものとする。
	② 化学物質を放散させる建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すと共に、次のイ)からホ)を満たすものとする。 イ) 合板、木質系フローリング、構造用パネ、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ポリ樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ロ) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びフェノールを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ハ) 接着剤はフェル酸モノマー及びフェル酸ジマー2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、フェノール、フェノールを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ニ) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、フェノールを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ホ) イ)、ハ)及びニ)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外(JIS、JASのF☆☆☆☆)のものを、放散が極めて少ないものとは放散量が第三种(F☆☆☆)のものをいい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料がない場合は、第三种のものを使用する。
	③ 環境への配慮	下記品目については、山口県グリーン購入の推進方針に基づき、グリーン購入適合品を採用する。 イ) 空調用機器 ・ 吸収式冷水機 ・ 氷蓄熱式空調機器 ・ GHP 空気調和機 ・ ヒートポンプエアコン ・ 空調用送風機 ・ 空調用ポンプ ロ) 衛生器具等 ・ 自動水栓 ・ 自動洗浄装置及びその組み込み小便器 ・ 洋式便器(※節水Ⅰ形 ・ 節水Ⅱ形) ・ 暖房便座及び温水洗浄便座 ・ ガス瞬間湯沸器 ハ) 配管材 ・ 排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管 ニ) 建設機械 ※ 排出ガス対策型 ※ 低騒音型
	④ 機材の承諾	原則として、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の機械設備工事機材承諾図様式集(平成25年版)による。
5	化学物質の濃度測定	測定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に測定結果を提出する。(提出部数 部) イ) 測定対象室及び測定対象箇所数 ・ (箇所) ・ (箇所) ・ (箇所) ・ (箇所) ロ) 測定方法及び測定対象化学物質 ※ 着工前濃度測定及び予備濃度測定 簡易測定法 (・ 検知紙法 ※ 検知管法 ・ 定電位電解法 ・ 吸光光度法) 測定対象化学物質 : ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ・ その他 () ※ 引き渡し前濃度測定 学校施設の場合 : ※ 厚生労働省の標準測定法 学校施設以外の場合 : ※ バック型採取機器 測定対象化学物質 : ※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、フェノール、用途が学校の場合は、ベンゾクロロベンゼンを加えた6物質を測定 ・ その他 () 測定は、計量証明事業者(濃度・大気)の登録を受けているものが行うこと。 測定方法等については、監督職員の指示を受けること。
	⑥ 建設廃棄物	イ) この工事が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)の対象建設工事となった場合は、建設リサイクル法の定めるところにより契約前に ① 説明書により説明(建設リサイクル法第12条) ② 建設リサイクル法第13条及び省令第4条に基づく書面の提出 を工事担当者へ行なわなければならない。 ロ) この工事により発生する建設廃棄物(特定建設廃棄物を含む。)を処理する場合、建設リサイクル法及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法という。))を遵守し適正に処理しなければならない。 引渡しを要するもの ※ 無し ・ 有り () 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ・ 有り (品名: ・ 処理の方法:) ハ) この工事から発生する建設廃棄物の処理施設は「廃棄物処理法により許可を受けた施設」とする。
7	耐震措置	イ) 機器、配管、ダクトなどの耐震措置のため、必要な計算書を監督職員に提出する。 ロ) 設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版、建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 建物の種別 ・ 特定の施設 ・ 一般の施設 重要機器 ・ 防災機器 ・ 火気を使用する機器 ・ タンク類 ・

⑧	技能士の適用 (1級または2級)	⑩ 配管(建築配管作業 級) ・ 熱絶縁施工 (級) ・ 塗装(建築塗装作業 級) ・ 冷凍空調調和機器施工 (級) ・ 建築板金 (級)
9	電気保安技術者	・ 適用する(資格要件は標準仕様書による) ・ 適用しない
10	仮設工事	請負者事務所、作業員休憩所、工事用機材置場等の仮設物は、あらかじめ仮設工事計画書を作成して監督職員と協議のこと。
⑪	指定仮設物	・ 仮囲い ・ 建築工事
12	工事表示板	※ 設置しない ・ 設置する(下記による)
⑬	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は請負者の負担とする。
⑭	建設発生土	※構外に搬出し適切に処理 ・ 構内敷きならし ・ 構内指示の場所に堆積
⑮	施工図等	総合図の作成 ○ 要 ・ 不要
16	総合調整・測定表	下記項目の総合調整を行い測定表を監督職員に提出する。(2部) ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 初期運転状態の記録 ・ 気密 ・ 水質 (・ 飲料水 ・ 浄化槽の放流水)
17	説明板等	監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置などの取扱必要事項を記載した説明板及び説明書を作成する。説明板は、指示する箇所に取付ける。
⑱	図形表示	機器類は、図面特記する形状及び配管等の取出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
19	電気容量等の表示	電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。
20	機器能力等の表示	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
21	負担金 (消費税込み)	・ 給水引込負担金(加入金及び納付金等を含む) (・ 本工事 ※ 別途) _____ 円 ・ ガス引込負担金 (・ 本工事 ※ 別途) _____ 円 ・ 下水道等接続負担金 (・ 本工事 ※ 別途) _____ 円 注) 申請及び検査等に係る諸経費は、受注者の負担とする。
22	スリーブ	水密を要する箇所は除き、硬質ポリ塩化ビニル管(VU もしくは VP)又はポリエチレン管を使用しても良い。
⑳	支持金物・固定金具	ポンプ及び屋外設置機器のアンカボルト、ナットはステンレス製(SUS304)とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等は、ステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき仕上げ(2種35以上)とする。ボルト内及び土間配管の吊金具はステンレス製とする。
㉑	はつり工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
㉒	補修など	工事の施工に伴い、既設部分を汚損した場合は既設にならぬ補修する。
26	配管の変位吸収措置	建物導入部等の配管の変位吸収は標準図の施工4、5とし、図面特記のない場合は標準図の施工5(c)とする。(適用配管 ・ 給水 ・ ガス ・ 油 ・ 消火 ・)
27	屋外土中埋設配管	イ) 給水・消火用配管にはバルブソケットは使用しない。 ロ) 図面に埋設深さの記載のない配管は土被り600mm以上埋設する。(ポンプ圧送以外の排水管は除く) ハ) 配管の周囲(100mm)は、山砂の類(ダスト含む)にて埋め戻す。
㉓	屋内土間埋設配管	イ) 管及び被覆樹脂をためぬよう山砂の類(ダスト含む)にて周囲を埋め戻したのち、掘削土の良質土で埋め戻す。 ロ) 配管には吊金具を取付け、土間コンクリートの配筋より吊る。
29	埋設標示	イ) 標準仕様書によるほか図示の箇所に地中埋設標を設ける。 ロ) 地中埋設標 a) 合成樹脂製のリサイクル製品を使用する。 b) 舗装部分は ※ 鉄製 ・ コンクリート製

	年度 7	工事名 周防の森ログジトイレ改修工事	機械設備特記仕様書(1)	M1
	光市建設部建築住宅課	一級建築士登録 第 号	設計変更 回	

一般
共
通
事
項

30

溶接管の検査

・ガス配管

・ガス配管以外（
非破壊検査の適用 ※ 無し

・有り（

放射線透過検査

・浸透探傷検査又は磁粉探傷検査）

※ 標準仕様書による %

イ）下記の倉庫・設備室等の配管、ダクトの保温は、屋内露出（一般居室 廊下）に読み替える。
・機械室
・ポンプ室
・電気室
・自家発電室
・倉庫

ロ）給湯管、温水管、冷温水管で、下記施工箇所は、次に示す保温の種別を適用し、保温材は、ポリスチレンフォーム保温材を硬質ウレタンフォーム保温材に読みかえる。
※ 土中埋設 d・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 D・(n)・Ⅲ（冷温水）
※ 屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所 e₂・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 E₂・(n)・Ⅲ（冷温水）
・暗渠内（ビット内を含む。） d・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 D・(n)・Ⅲ（冷温水）

31

保温

32

塗装

下記部分のビニル管はカラーV Pとし、塗装を行わない。
※ 屋内露出部分 ※ 屋外露出部分

33

防食処理

標準仕様書によるほかコンクリート内の鋼管(排水用を含む)はプラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。（但し外面樹脂被覆鋼管は除く）

34

着工時の提出図書

工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。
※工事用製本図面（工事用A 2版）（ 1 ）部
（縮小版A 3版）（ 1 ）部

35

完成時の提出図書

※竣工図A 2版（ 2 ）部 ・施工図A 2版（ ）部
※黒表紙付きA 4版(工事名、工期、施工者名を記入)に次の図書を製本したものを（ 2 ）部提出する。
※ 設計図（変更図共） ※ 施工図 ※ 機器図(保証書の別-共) ※ 各種試験成績表
※ 取扱説明書（保全に関する指導案内書を含む） ※ 各種申請済書類のコピー
※ 公的機関の検査済証 ※ 工事担当者名簿 ※ 下請業者届・主要材料届 ※ 施工体系図
※竣工図アーチャード（ 1 ）部、CADデータ

36

工事写真

下記のものを監督職員に提出する

分類 ・ 規格		撮影場所	部数	備考
※ カラー	※ サービス版(L版)	適宜	1部	電子データ共

電子データの提出方法については「工事写真の電子納品について」による。
工事写真は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部「工事写真の撮り方(改訂第3版)-建築設備編」及び「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。
完成時に1部提出する。
イ）図面特記のない場合、下表による。
ロ）他工事との取り扱い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

他工事との取合い				
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋め込み盤、フルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	※	・	・
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井のボード類の切込み及び下地補強	電気のスリーブ等	・	※	・
	機械のスリーブ等	・	・	※
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	切込み及び補強	※	・	・
天井点検口	電気室出し	・	※	・
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	機械室出し	・	・	※
機器類の吊りボルト用インサート	基礎及びビット	※	・	・
	電気室出し	・	※	・
機器類の取付用アンカーボルト	基礎及びビット	※	・	・
	電気室出し	・	※	・
コンクリート基礎（外灯設備）	電気設備	・	※	・
コンクリート基礎（機械設備機器類）	機械設備	・	・	※
	電気設備	・	※	・
	機械設備	・	・	※
オイルサービスタンク防油堤	電気設備	・	※	・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、ドアロック	電気設備	・	・	※
OAフロアー・フリーアクセスフロアーの切込み及び補強	電気設備	・	・	※
外壁取付けガラリ	電気設備	・	・	※
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）	電気設備	・	・	※
建築工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	電気設備	・	・	※
機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	電気設備	・	・	※
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続	電気設備	・	・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管	電気設備	・	・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線	電気設備	・	・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付	電気設備	・	・	※
エアコンの屋内機、屋外機間の渡り配線（アース共）	電気設備	・	・	※
換気機器用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付	電気設備	・	・	※
換気機器用スイッチ本体（空調換気扇用、24時間換気用を除く）	電気設備	・	・	※
機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線	電気設備	・	・	※
機械設備工事に含む電極の配管・配線	電気設備	・	・	※
観音装置の埋込ボックス	電気設備	・	・	※
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線	電気設備	・	・	※
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配管	電気設備	・	・	※
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配線	電気設備	・	・	※
ガス給湯器等のアース配線	電気設備	・	・	※
屋内、屋外雨水管	電気設備	・	・	※

37

工事日報

38

他工事との取合い

空気調和・冷暖房・換気設備

1

設計用温湿度条件

	外気条件		室内(調整目標値)			
			室名		室名	
	温度 (D B)	湿度 (R H)	温度 (D B)	湿度 (R H)	温度 (D B)	湿度 (R H)
夏期	℃	%	℃	%	℃	%
冬期	℃	%	℃	%	℃	%

2

機器選定能力

機器の冷房・暖房能力は定格能力による選定とし、図示能力以上の機器を選定する。

3

冷水・温水・冷温水膨張・空気抜・補給水

※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452] ・ 配管用ステンレス鋼鋼管 [JIS G 3448]

4

ドレン管・通気管

・配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452]

・カラー硬質ポリ塩化ビニル管 (h7-VP)（露出部分） [JIS K 6741]

・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) [JIS K 6741] または
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) [JIS K 9798]（原則RF-VP）

5

冷却水管

※ 塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA） [JWWA K 116, WSP 011]

6

蒸気給気管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452]
※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS G 3452] ・

7

蒸気還水管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS K 3452] ・ 外面被覆鋼管

8

油・油用通気管

・ 配管用ステンレス鋼鋼管 [JIS G 3448]
※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS G 3452] ・ 外面被覆鋼管 ・

9

冷媒管

※ 断熱材被覆鋼管 [JCDA 0009]
保温厚 ガス管：20mm、液管：10mm（ただし液管は、呼径9.52φ以下を保温厚8mmとして良い）
※ 2種管又は3種管を使用する。

10

17℃用冷媒弁 類

冷媒はH F Cとする。
JIS 5 Kとする。ただし特記部分は、JIS 10 Kとする。

12

瞬間流量計及び流量測定口

イ）形式はビーター管式（コック付）とする。 ※着脱式 ・固定式
ロ）標準仕様書によるほか下記及び図示の箇所にも取付ける。
・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
・ 冷温水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
・ ユニット形空気調和機の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
・ ・ ・

13

温度計

標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。
・ ユニット形空気調和機廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト
・

14

パッケージ形空気調和機（マルチパッケージ形及びカセットユニット形式を含む）

※ 冷暖房能力はJIS B 8616による。（ただし、GHPはJIS B 8627による。）
※ 屋内機、屋外機ともアース線をとる。
※ 屋外機は防水パット敷きの上、ダブルナットにて固定する。
※ 高さが1000H以上の室外機は転倒防止措置を講じる。
（ただし、耐震計算書により転倒しないことが確認された場合を除く）
イ）※ 流量調整弁 ・ 定流量弁（ ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形）を取付ける。
ロ）カセット形の風量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。

15

ファンコイルユニット

イ）※ 流量調整弁 ・ 定流量弁（ ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形）を取付ける。
ロ）カセット形の風量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。

16

放熱器

放熱器弁及びレターンコック又はトラップを取付ける。

17

吹出口・吸込口

弁及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ※ アルミニウム製（ ・ 着色する ・ 着色しない）

18

ダクト

長方形ダクトは ・ アングルフランジ工法
・ コーナーボルト工法（適用範囲は標準仕様書による）
厨房用排気ダクトの板厚
長方形ダクトの場合

ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を超え1200以下	0.6以上	0.8以上
1200を超え1800以下	0.8以上	1.0以上
1800を超えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合

円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上
750を超え1000以下	0.6以上	0.8以上
1000を超え1250以下	0.8以上	1.0以上
1250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

空気調和・冷暖房・換気設備

19

ダンパ

軸受けはベアリングとする。

20

フィルターの予備品

各種フィルターの予備品は下記による。
※ 100%（ ） ・ 50%（ ） ・

21

消音内貼り

イ）図示のダクト並びにチャンバーの保温材は、グラスウールとする。
ロ）内貼りチャンバー類の寸法は、外形寸法とする。
ハ）内貼りしたチャンバーの図示の箇所には点検口を取付ける。
点検口の大きさは原則として400×600とする。

22

煙道

イ）厚さ ※ 3.2mm ・
ロ）ばい煙濃度計 ・ 設置 ・ 不設置 ・ 取付座を設置
ハ）ばいじん量測定口80φ（大気汚染防止法による） ※ 設置 ・ 不設置

23

オイルサービスタンク

イ）液面制御装置 ※ 取付ける ・ 取付けない
機能 ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動、停止
・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠方警報接点
ロ）油面計はゲージ式（側圧式）とする。（警報接点 ※ 無し ・ 有り）

24

地下オイルタンク

イ）据付け方法は標準図 ・ 施工31
・ 施工32（鋼製強化プラスチック製二重殻）
ロ）タンクの保護被覆 ・ ウレタンエラストマー樹脂 ※ エポキシ樹脂
・ 強化プラスチック二重殻
ハ）遠隔油面指示計 ※ 取付ける（※ 抵抗変化式 ・ 磁歪式 ・ ）
・ 取付けない
ニ）基礎杭 ※ 不要 ・ 要 （ ・ 本工事 ・ 別途工事）
ホ）土留め工事 ※ 不要 ・ 要 （ ・ 本工事 ・ 別途工事）

25

保温

イ）天井内の空調ドレン管 ※ 保温する ・ 保温しない
ロ）屋内露出の空調ドレン管 ※ 保温する ・ 保温しない
ハ）パイプシャフト内の空調ドレン管 ・ 保温する ※ 保温しない
ニ）屋内、屋外露出冷媒配管の外装材 ※ 保温化被覆（塩ビ製） ・
ホ）スパイラルダクトの保温 ※ グラスウール保温板 32K ・ グラスウール保温板 40K
ヘ）全熱交換器外気側の保温（25mm厚）施工 ※ 給気ダクト ※ 排気ダクト
ト）厨房用排気ダクト（隠ぺい部）の断熱 ※ 行う（h・(i)・(ix) ・ 行わない（レンジフード含む）

衛生器具設備

1

和風大便器の耐火処理

標準図（施工66（b））により施工する場所（ ）

2

大便器用便座

原則として普通便座を使用するが、温水洗浄便座等を使用する場合は図中特記による。

給水設備

1

配管材料

イ）一般配管用 ※ 水道用塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA） [JWWA K116, WSP 011]
ロ）土間配管用 ※ 内外面塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） [JWWA K116, WSP 011]（コンクリート埋設を含む）
ハ）屋外土中埋設用 ・ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） [JIS K 6742]
・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（VW） [JIS K 6742]
・ 内外面塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） [JWWA K116, WSP 011]
・ 水道配水用ポリエチレン管 [JWWA K 144]
・
ニ）H I V P管の接合 ※ 75φ以上はR R継手による接合（離脱防止金具取付）
ホ）特記なき給水管の最小口径は20φとする。

2

管端防食継手

※ 使用する（標準仕様書による）

3

弁類

※ 弁類は、JIS 10 K とする。
・ 高置水槽以降の配管に使用するものは、JIS 5 K とする。
※ 量水器樹、給水引込部の止水栓、弁類は水道事業者の指定品を優先する。

4

緊急遮断弁装置

イ）遮断弁駆動方式 ※ 電気式 ・ 機械式
ロ）地震感知器 ※ 電子式 ・ 機械式

5

水栓柱

※ 合成樹脂製（内部コンクリート） ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製

年度7

工事名周防の森ログジトイレ改修工事

機械設備特記仕様書（2）

M2

光市建設部建築住宅課

一級建築士登録第号印

設計変更回

A3版 71%縮小

		6	さや管ヘッダー配管システム	イ) 配管材料 ・ 架橋ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6769] ・ ポリブテン管 (PB) [JIS K 6778] ロ) 配管サイズ ※樹脂管（内管）とさや管の適合サイズ及びさや管の曲げ半径は以下による。 <table><tr><th rowspan="2">分 類</th><th rowspan="2">樹脂管</th><th rowspan="2">さや管</th><th colspan="2">最小曲げ半径 (mm)</th></tr><tr><th>水平部</th><th>立上部</th></tr><tr><td rowspan="2">架橋ポリエチレン管</td><td>10</td><td>22</td><td>200</td><td>150</td></tr><tr><td>13</td><td>22</td><td>250</td><td>200</td></tr><tr><td rowspan="2">ポリブテン管</td><td>16</td><td>28</td><td>500</td><td>350</td></tr><tr><td>20</td><td>36</td><td>500</td><td>450</td></tr></table> ハ) 施工 ※さや管ヘッダー配管システムは、(財)ベタリーピング「優良住宅部品評価基準 配管システム」Ⅰ．総則及びⅡ．要求事項 1 住宅部品の性能基準に係る要求事項 1.1 機能の確保～1.3 耐久性の確保において定める性能等を有すること。 ※さや管ヘッダー用配管の端部は、遮熱キャップを取り付ける。 ※さや管ヘッダーは保温を行う。 ※樹脂管の通管は、木工事完了後とする。ただし、下記事項を遵守して施工する場合には、さや管と樹脂管の同時施工をしても良い。 a) 配管施工時、樹脂管は系統毎に20cm程度の余長を取る。 b) 木工事完了後、水栓、ヘッダー接続前に内管10cmの押し引き試験を2回行い、チェックリストを作成し、監督員に提出する。 ※1系統の配管延長は10m以内とし、曲がり数は以下による。 <table><tr><th rowspan="2">樹脂管サイズ</th><th colspan="3">曲げ箇所数</th></tr><tr><th>水平部</th><th>立上部</th><th>計</th></tr><tr><td>10</td><td>4以下</td><td>2以下</td><td>6以下</td></tr><tr><td>13</td><td>4以下</td><td>2以下</td><td>6以下</td></tr><tr><td>16</td><td>4以下</td><td>2以下</td><td>6以下</td></tr><tr><td>20</td><td>3以下</td><td>2以下</td><td>5以下</td></tr></table> ニ) 樹脂管の接続方法 a) 架橋ポリエチレン管 ※メカニカル接合 ・電気融着接合 b) ポリブテン管 ※メカニカル接合 ・熱融着接合 ・電気融着接合 ホ) 水圧試験 器具取付け後の住戸内給水管（水道メーター以降）の水圧試験は、圧力値0.75MPaにて実施する。保持時間は60分以上とし、漏水のないこととする。ただし、さや管ヘッダー配管システムにおける樹脂管の水圧試験は、以下による。 <table><tr><th>管種</th><th>初圧 MPa</th><th>60分後 MPa</th><th>判定</th></tr><tr><td>PE</td><td>0.75</td><td>0.45以上</td><td>合格</td></tr><tr><td>PB</td><td>0.75</td><td>0.55以上</td><td>合格</td></tr></table> 継手部分の漏水の有無を目視確認する。60分後、上記の圧力以下の場合は、当初圧力を下げないで再加圧し、以下に基づき再試験する。 <table><tr><th>管種</th><th>初圧 MPa</th><th>60分後 MPa</th><th>判定</th></tr><tr><td>PE</td><td>0.75</td><td>0.55以上</td><td>合格</td></tr><tr><td>PB</td><td>0.75</td><td>0.65以上</td><td>合格</td></tr></table> 不合格の場合は、継手部分の漏水の有無を目視確認する。異常がなければ系統別に調査し、漏れ系統は引抜き、取替えることとし、再び水圧試験を行う。	分 類	樹脂管	さや管	最小曲げ半径 (mm)		水平部	立上部	架橋ポリエチレン管	10	22	200	150	13	22	250	200	ポリブテン管	16	28	500	350	20	36	500	450	樹脂管サイズ	曲げ箇所数			水平部	立上部	計	10	4以下	2以下	6以下	13	4以下	2以下	6以下	16	4以下	2以下	6以下	20	3以下	2以下	5以下	管種	初圧 MPa	60分後 MPa	判定	PE	0.75	0.45以上	合格	PB	0.75	0.55以上	合格	管種	初圧 MPa	60分後 MPa	判定	PE	0.75	0.55以上	合格	PB	0.75	0.65以上	合格		2	バルブソケット	給用水を使用する。		1	処理種別及び方式	・ 小規模合併処理（ ・ 分離接触ばっ気方式 ・ 嫌気濾床接触ばっ気方式 ） ・ 合併処理（ ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ ）
				分 類				樹脂管	さや管	最小曲げ半径 (mm)																																																																										
水平部	立上部																																																																																			
架橋ポリエチレン管	10	22	200	150																																																																																
	13	22	250	200																																																																																
ポリブテン管	16	28	500	350																																																																																
	20	36	500	450																																																																																
樹脂管サイズ	曲げ箇所数																																																																																			
	水平部	立上部	計																																																																																	
10	4以下	2以下	6以下																																																																																	
13	4以下	2以下	6以下																																																																																	
16	4以下	2以下	6以下																																																																																	
20	3以下	2以下	5以下																																																																																	
管種	初圧 MPa	60分後 MPa	判定																																																																																	
PE	0.75	0.45以上	合格																																																																																	
PB	0.75	0.55以上	合格																																																																																	
管種	初圧 MPa	60分後 MPa	判定																																																																																	
PE	0.75	0.55以上	合格																																																																																	
PB	0.75	0.65以上	合格																																																																																	
3	保 温	イ) 硬質ポリ塩化ビニル管を使用する排水管は ※ 保温しない ・ 保温する ロ) バイブシャフト内の排水管は ※ 保温しない ・ 保温する	2	形式及び槽の材質	※ ユニット形（FRP製） ・																																																																															
4	小口径樹	イ) (社)日本下水道協会規格 JSWAS K-7とする。 ロ) 樹の立ち上がり管はVU管とし、樹脂蓋はくさり（SUS）付とする。 ハ) VP管との接続は、樹の出口で変換ソケットを使用する。 ニ) 防護ハットの荷重区分は下記とし、内側に止水キャップを取付する。 ※ T-8 ・ T-14 ・ T-25	3	処理能力	処理対象人員 _____人 処理水量 _____m ³ /d																																																																															
給湯設備	1	配管材料	※ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 [JIS G 3448] （継手は標準仕様書による 但し接合方法は指定しない） ・ 硬質継目無銅管 ・ 外面被覆銅管 ・ 保温付被覆銅管	浄化槽設備	4	水 質	流入水BOD ・ 200mg/ℓ以下 ・ mg/ℓ 放流水BOD ・ 20mg/ℓ以下 ・ mg/ℓ以下 放流水T-N ・ 20mg/ℓ以下 ・ mg/ℓ以下																																																																													
	2	井 類	JIS 5 Kとする。ただし特記部分は、JIS 10-Kとする。		5	コンクリート工事	※本工事 ・ 別途工事																																																																													
	3	ガス湯沸器	※ 潜熱回収型（給湯の熱効率90%以上） ・ 潜熱回収型（給湯の熱効率95%以上） ・ 一般型		6	基礎杭	※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事）																																																																													
	4	さや管ヘッダー配管システム	イ) 配管材料 ・ 架橋ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6769] ・ ポリブテン管 (PB) [JIS K 6778] ※さや管ヘッダー配管システムの配管サイズ、施工等については、給水設備に準じて行う。		7	土留工事	※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事）																																																																													
消火設備	1	配管材料	イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452] ・ ロ) 土間配管用 ※ 消火用硬質塩ビ外面被覆銅管 (SGP-VS) [WSP 041] ・ ハ) 屋外土中埋設用 ・ 消火用硬質塩ビ外面被覆銅管 (SGP-VS) [WSP 041] ・ 消火設備用合成樹脂管（日本消防設備安全センター認定品） ・ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) [JIS K 6742]	厨房機器設備	8	電気工事	・ 本工事（操作盤を含む以降の二次側配管、配線） ・ 別途工事 電源 φ V kW 程度																																																																													
	2	屋内1号消火栓箱	イ) ※ 易操作性1号消火栓 ・ 1号消火栓 ロ) ・ HB-0A、0B 形（山口県標準詳細図） ・ HB-1A、1B 形 ・ HB-2A、2B 形 ・ （国交省標準図） ただし箱の大きさは、内法 700×1,000 以上とする。		9	マンホールふた	※ MHA形 ・ MHB形 ・ 製造者規格品																																																																													
	3	屋内2号消火栓箱	イ) ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ロ) ・ HB-4A、4B 形 ・ （国交省標準図）		10	流入管底	GL- _____mm																																																																													
	4	井 類	※ JIS 10 K ・ JIS 16K		11	放流方式	※ 自然流下 ・ ポンプアップ排水（槽及びポンプは ・ 付属品 ・ 図示による）																																																																													
5	消火ポンプ	イ) ユニット形とし標準仕様書による。 ロ) 制御室内に起動リレーを内蔵する。	6	埋戻し土	※ 山砂の類（※ 槽廻り600mm程度 ・ 全根切分） ・ 根切土の中の良質土																																																																															
6	保 温	消火配管等のうち、次の部分は保温を施す。（仕様は給水の区分による） ※ 屋外露出部分 ※ 充水槽 ・	7	槽内金具等	槽内配管、部品及び支持金具は全て樹脂製又はステンレス製（SUS304）とする。																																																																															
7	消火器	※ 粉末ABC10型消火器（蓄圧式） ・	8	エアー配管材料	イ) 屋内配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） [JIS G 3452] ロ) 土間配管用 ※ ポリエチレン被覆銅管 [JIS G 3469] ハ) 屋外土中埋設用 ※ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) [JIS K 6742]																																																																															
8	適用規準	消防法及び関連法規によるほか、消防用設備等の技術基準（第8次改訂版）全国消防長会中国支部編による。	その他	その他	その他																																																																															
ガス設備	1	配管材料	イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452] ・ 塩化ビニル被覆銅管 (PLV) ロ) ビット内配管用 ※ 塩化ビニル被覆銅管 (PLV) ・ ハ) 土間配管用 ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6774] ・ ポリエチレン被覆銅管 (PLP) [JIS G 3469] （ねじ接合を除く） ニ) 屋外土中埋設用 ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6774] ・ ホ) コンクリート埋設用 ※ 塩化ビニル被覆銅管 (PLV)	その他	1	材質	※ アジャスターはSUS304とする																																																																													
	2	ガスメーター	親メーター ※ ガス供給事業者より借用 ・ 買取り 子メーター ・ ガス供給事業者より借用 ※ 買取り		2	安全装置	イ) 熱調理器及び洗浄消毒機器の安全装置の適用については、標準仕様書によるほか図面特記による																																																																													
	3	容器廻りの配管	施工方法 標準図（施工72） ・ 施工要領（a、b） ・ 施工要領（c）（予備調整器系統 ※ 不要 ・ 要）		1	アスベスト含有成形板の除去	石棉障害予防規則を遵守し施工を行う。 作業管理者 石棉作業主任者 又は 特定化学物質等作業主任者（平成18年3月31日以前に取得した者） 対象建築材料（ ・ 天井ボード ・ ビニル床タイル）																																																																													
	4	容器の転倒防止	施工方法 標準図（施工73） ※ 施工要領（a） ・ 施工要領（b）		2	アスファルト舗装	特記なき敷地内アスファルト舗装の仕様は以下による。 （ ・ 再生密粒AS-5-10 ・ ）																																																																													
5	防 蝕	合成樹脂被覆銅管以外の配管は、支持金具部分プラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする	3	接着系アンカーボルト	標準図 基礎施工要領（一）（施工25）の◎印と○印に適用してもよい。 上向打ちに使用してはならない。																																																																															
6	ガス栓	末端ガス栓は、オン・オフ式とし、接続は次による ※ ホース（ヒューズ） ・ コンセント（ヒューズ） ・ 可とう管																																																																																		
7	その他	イ) 都市ガス設備は、ガス供給事業者の規定する供給約款等の定めによる ロ) 工事完成後、ガス供給事業者立会いの上検査を行ない引継証を2部提出する																																																																																		

 年度7 | 工事名周防の森ロジットイレ改修工事 | 機械設備特記仕様書（3） | M3 || | 光市建設部建築住宅課 | 一級建築士登録 第 号 印 | 設計変更 回 | |

A3版 71%縮小

分類	機材名	摘要	製造業者名
ボイラー	鋼製簡易ボイラー 鑄鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー		社団法人 公共建築協会が行う 建築材料・設備機材等品質性能 評価事業の設備機材等評価名簿 (電気設備機材・機械設備機材) 平成28年度版による。
温水発生機	真空式温水発生機 無圧式温水発生機	鋼製・鋳鉄製	
冷凍機	チリングユニット(水冷式・空冷式・空気熱源L・H・2T) 直だし吸収冷凍水機 小形吸収冷凍水機ユニット 遠心冷凍機		
冷却塔	冷却塔		
空調機	ユニット形空調機 ファンコイルユニット及びパナコイルユニット パッケージ形空調機 コンパクト形空調機 ガスエンジンヒートポンプ式空調機		
空気清浄装置	エアフィルター (V 裨形、折込み形、袋形) 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器		
全熱交換器	全熱交換器 (回転形、静止形) 全熱交換ユニット		
送風機類	遠心送風機 (多翼形送風機) 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機		
ポンプ類	横形遠心ポンプ 水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用) 立形遠心ポンプ		
ダクト用品	吹出口・吸込口 風量ユニット (定風量、変風量)		
自動制御	自動制御システム		
衛生器具類	衛生器具ユニット		
タンク	FRP製パネルタンク 密閉形隔膜式膨張タンク (空調用・給湯用) ステンレス鋼板製パネルタンク(非加熱形、ボルト連結形)		
消火装置	スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム		
厨房機器	厨房システム	安全製食器 洗濯乾燥機類 洗浄消毒機類 (食器洗浄機類) 低騒音機器	
衛生陶器用品	衛生陶器及び付属品 水栓類		㈱ L I X I L ジャニス工業 ㈱ T O T O ㈱
排水金具	排水金具		カネソウ ㈱ 小島製作所 ダイドレ ㈱ ㈱中部コーポレーション ㈱長谷川 ㈱ 福西 ㈱ 伊藤鉄工 ㈱
鑄鉄製ふた	マンホールふた 弁柵ふた		社団法人 公共建築協会が行う建築 材料・設備機材等品質性能評価事業 の設備機材等評価名簿(電気設備機材 ・機械設備機材)平成28年度版による ほか、下記による。 ㈱ダイモ
消火器具	消火栓		㈱立売 ㈱製作所 ㈱北浦製作所 ㈱村上製作所 ㈱横井製作所
製作類	圧力容器		第1種圧力容器製造許可工場 製品とする

洋 風 便 器			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	フラッシュ弁	ロータンク	国土交通省標準記号
タンク式床置床排水洗落とし節水Ⅰ形便器	—	C 7 1 0 R B T	C 7 1 0 R
洗浄弁式床置床排水サイホン節水Ⅰ形便器	C 9 1 0 R F V	—	C 9 1 0 R
洋 風 密 結 便 器			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	国土交通省標準記号		
タンク式床置床排水洗落とし節水Ⅰ形便器	C 1 2 0 0 R		C 1 2 0 0 R
タンク式床置床排水洗落とし節水Ⅱ形便器	C 1 2 0 0 S		C 1 2 0 0 S
タンク式床置床排水サイホン節水Ⅱ形便器	C 1 2 1 0 S		C 1 2 1 0 S
注) ・手洗いなしとする場合は末尾に明記する。 例) C 1 2 0 0 R (手洗いなし)			
和 風 大 便 器			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	フラッシュ弁	ロータンク	国土交通省標準記号
和風洗出し床上給水節水Ⅰ形大便器(差込形)	C 3 1 1 R F V	C 3 1 1 R B T	—
多 目 的 便 所 用 便 器			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	リモコンフラッシュ弁	密結ロタンク	国土交通省標準記号
高座節水Ⅰ形便器 (9t以下洗浄)	C1111R F V S	C1111R B T	C 1 1 1 1 R
タンク式床置床排水洗落とし節水Ⅱ形便器(9t以下洗浄・手洗なし)	—	C 1 2 0 0 S	C 1 2 0 0 S
洗浄弁式床置床排水サイホン節水Ⅰ形便器	C910R F V S	—	C 9 1 0 R
小 便 器			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	国土交通省標準記号		
専用洗浄弁式壁掛小便器(低リップ)	U 6 2 0 R F V S		U 6 2 0
専用洗浄弁式壁掛小便器(大)	U 6 2 0 R F V S (大)		U 6 2 0
専用洗浄弁式床置小便器(大)	U 6 1 0 R F V S		U 6 1 0
洗浄弁式床置小便器(大)	U 5 1 0 R F V		U 5 1 0
汚 物 流 し			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	国土交通省標準記号		
汚物処理ユニット (オストメイト用)	O S U		—
掃 除 流 し			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	国土交通省標準記号		
バック付掃除流し	S 2 1 0		S 2 1 0
洗面器・手洗器・洗面化粧台			
品 名	山 口 県 標 準 品 番		JIS(A5207) 記号
	給水栓 1 個	自動水栓 (AC100V)	国土交通省標準記号
洗面器 一般 (大)	L 4 1 0	L 4 1 0 S	L 4 1 0
洗面器 一般 (小)	L 4 2 0	L 4 2 0 S	L 4 2 0
洗面器 身体障害者用	L 5 1 1	L 5 1 1 S	L 5 1 1
手洗器 一般 (大)	L 7 1 0	—	L 7 1 0
コンパクト手洗器 (埋込タイプ)	—	L 9 1 0	—
洗面化粧台 (600形)	L D 6 0 0	—	—
洗面化粧台 (750形)	L D 7 5 0	—	—
化粧キャビネット (600、750形)	LM600、LM750		—
注) ・付属品等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編・平成28年版)に準ずる。 ・低圧用フラッシュ弁使用の場合は末尾に(L)をつける。 例) C 3 1 1 R F V (L) ・ロータンクは防露形とし、原則として手洗付きとする。身体障害者用は手洗無しとする。 例) C 3 1 1 R B T (ロタンク手洗無し) ・特殊な付属品等を使用する場合は末尾にその仕様を明記する。 例) C 3 1 1 R B T (ロタンク手洗無し) ・洗面器及び手洗器で、サーモ混合水栓を使用する場合は末尾に明記する。 ・洗面化粧台で、シングルレバー混合水栓を使用する場合は末尾に明記する。 例) L 4 1 0 S (サーモ混合) ・手洗器は、原則として立形自閉水栓＋アングル形止水栓とする。 例) L D 7 5 0 (シングルレバー)			
小 物 類			他
品 名	山口県標準品番	品 名	山口県標準品番
紙巻器 シングル(ワンタッチ)	E 2 0	擬音装置 (AC100V)	E 7 1
紙巻器 ダブル	E 2 1	暖房便座	E 8 1
化粧棚 (大) 450×140	E 3 1	温水洗浄便座(本体操作タイプ、暖房暖風付)	E 8 2
取扱い注意板 140×60	E 4 0	汚物入れ (SUS製)	E 1 0 1
立形水石けん入れ	E 5 0	ダブルフック (SUS製)	E 1 0 2
横形水石けん入れ	E 5 1	着替え台	E 1 0 3
耐食鏡 5mm 360×450	E 6 3	ベビーシート	B S
耐食鏡 5mm 450×600	E 6 5		
耐食鏡 5mm 600×900	E 6 6		
注) ・耐食鏡を盗難防止形とする場合は末尾に明記する。 例) E 6 3 (盗難防止形) ・擬音装置を露出形とする場合は末尾に明記する。 例) E 7 1 (露出形) ・温水洗浄便座を露なし形、V12(操作形)とする場合は末尾に明記する。 例) E 8 2 (露なし)、E 8 2 (V12(操作))			
1	衛生器具類		

給 水 栓 ・ 止 水 栓 ・ シ ャ ワ ー 類		
品 名	山口県標準品番	国土交通省標準記号
壁付混合水栓 シングルレバー式	F 2 A 2 (S Z)	—
台付混合水栓 シングルレバー式	F 2 B 1 (S Z)	—
銅長横水栓	※ F 3	—
キー式横水栓	※ F 4 K	F 4
キー式吐水口回転形銅長横水栓	※ F 6 K	F 6
キー式吐水口回転形横水栓	※ F 7 K	F 7
緊急止水弁付横水栓 (逆止弁付)	F 7 S	—
台付き自在水栓	※ F 9 A	F 9 A
横形自在水栓	※ F 1 0 A	F 1 0 A
散水栓	F 1 1	—
散水栓 (自動接手付)	F 1 1 A	—
カップリング付き横水栓 (自動接手付)	F 1 2 A	F 1 2
キー式カップリング付き横水栓	F 1 2 K	F 1 2
横形グースネック水栓	※ F 1 4 A	—
壁付ハンドシャワー式シャワーバス水栓(切替)シングルレバー式	F 1 8 A M	—
壁付ハンドシャワー式シャワーバス水栓(切替)サーモスタート式	F 1 8 A S	—
立形散水栓	F 2 1	—
横形散水栓	F 2 2	—
立形洗眼水栓 (自在式)	F 2 3	—
横形洗眼水栓 (自在式)	F 2 4	—
立形自閉水栓	F 2 5	—
横形自閉水栓	F 2 6	—

注) ・表中記載以外の品番は、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成28年版・機材33)又は、J I S B 2 0 6 1 (給水栓)による。

・左ハンドル仕様及び泡沫形の場合は、末尾に明記する。 例) F 9 A (L) (泡まつ)

・※をつけた水栓は、大きさ13に限り原則として節水こまとする。但し給湯用水栓は、普通こまとする。

2	給水栓類
---	------

4	散水栓樹取付図 (B C - 3)
---	-------------------

5	量水器樹 (13mm～20mm)
---	------------------

7	量水器ボックス取付図 (50mm以上)
---	---------------------

6	屋内消火栓箱 (HB-0A、HB-0B)
---	----------------------

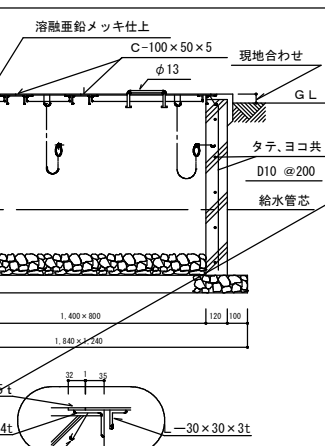
8	グリーストラップ詳細図
---	-------------

排水金具類				
品名	備考	山口県標準品番	J C W記号 J I S 記号	
床排水金物	C形金物 (T 3 スレーナ部分相当)	C	C	
P形トラップ	(T 3 トラップ 部分相当)	P	—	
床排水トラップ	ワントラップ (非防水用)	T 5 A	T 5 A	
床排水トラップ	ワントラップ (75mm防水層用)	T 5 B	T 5 B	
洗濯機用床トラップ	ワントラップ (非防水用)	T 5 C A	—	
洗濯機用床トラップ	ワントラップ (75mm防水層用)	T 5 C B	—	
流しトラップ	ステンレス流し用 (ストレーナ付き)	T 1 4 A A	T 1 4 A A	
流しトラップ	ステンレス流し用 (共 栓 付 き)	T 1 4 A B	T 1 4 A B	
流しトラップ	コンクリート流し用 (ストレーナ付き)	T 1 4 B A	T 1 4 B A	
流しトラップ	コンクリート流し用 (共 栓 付 き)	T 1 4 B B	T 1 4 B B	
流し排水金具	ステンレス流し用 (ストレーナ付き)	C - A A	—	
流し排水金具	ステンレス流し用 (共 栓 付 き)	C - A B	—	
コンクリート浴槽トラップ	SNA + 防水受つば + P形トラップ	T 1 5	—	
コンクリート浴槽トラップ	SNA+防水受つば+P形トラップ (ゴム製共栓付き)	T 1 5 - R	—	
スリット浴槽排水金物	(ゴム製共栓付き)	SNA - R	SNA - R	
プラスタートラップ	鋳物製	P L T	—	
床上掃除口	ビニール管用	CVA	—	
床上掃除口	ビニール管用化粧形	CVAT	—	
床上掃除口	ガス管用化粧形 (非防水用)	COAT	—	
床上掃除口	ガス管用化粧形 (75mm防水層用)	COBT	—	
床下掃除口	鋳鉄管用	CE	—	
立管掃除口		VCO	—	
通気金物	露出形ベンドキャップ	VR	—	
防虫網	(内ねじ型、外ねじ型)	IDN	—	
量水器樹皮ふた	13mm ~ 20mm	MB	—	
散水栓箱	固定金具付き	B3	—	

注) ・表中記載以外の品番は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (平成28年版・機材34)による。

・50A以下のワントラップについては、樹脂製のワントとする。

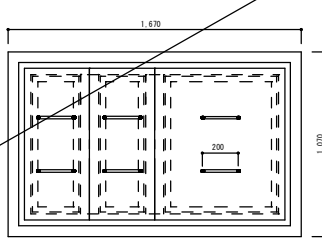
3	排水金具類 ・ ふた類
---	-------------



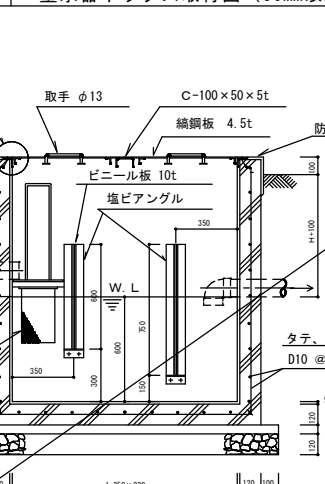
溶融亜鉛メッキ仕上
C-100×50×5
φ13
現地合わせ
G.L.
タテ、ヨコ共
D10 φ200
給水芯管
1,400×800
1,840×750
120 100
12 13
30×30×3t
センサー

A部詳細図

量水器ボックス取付図 (50mm以上)

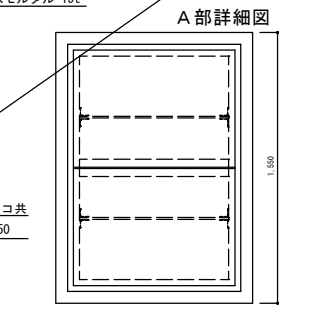


1,670
1,020
200
注) ・蓋 鋼鋼板4.5t 3枚割り
・蓋 蓋防止用鎖付き (3枚蓋共)



取手 φ13
C-100×50×5t
鋼鋼板 4.5t
ビニール板 10t
塩ビアングル
W.L.
350
200
100
15
1,250×820
1,720×1,290
120 100
15
12 13
30×30×3t
アンカー
防水モルタル 15t
タテ、ヨコ共
D10 φ150

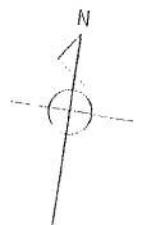
A部詳細図



1,650
1,120
注) ・塩ビ板は容易に引き抜き可能なものとする。
・蓋は溶融亜鉛メッキ仕上とする。

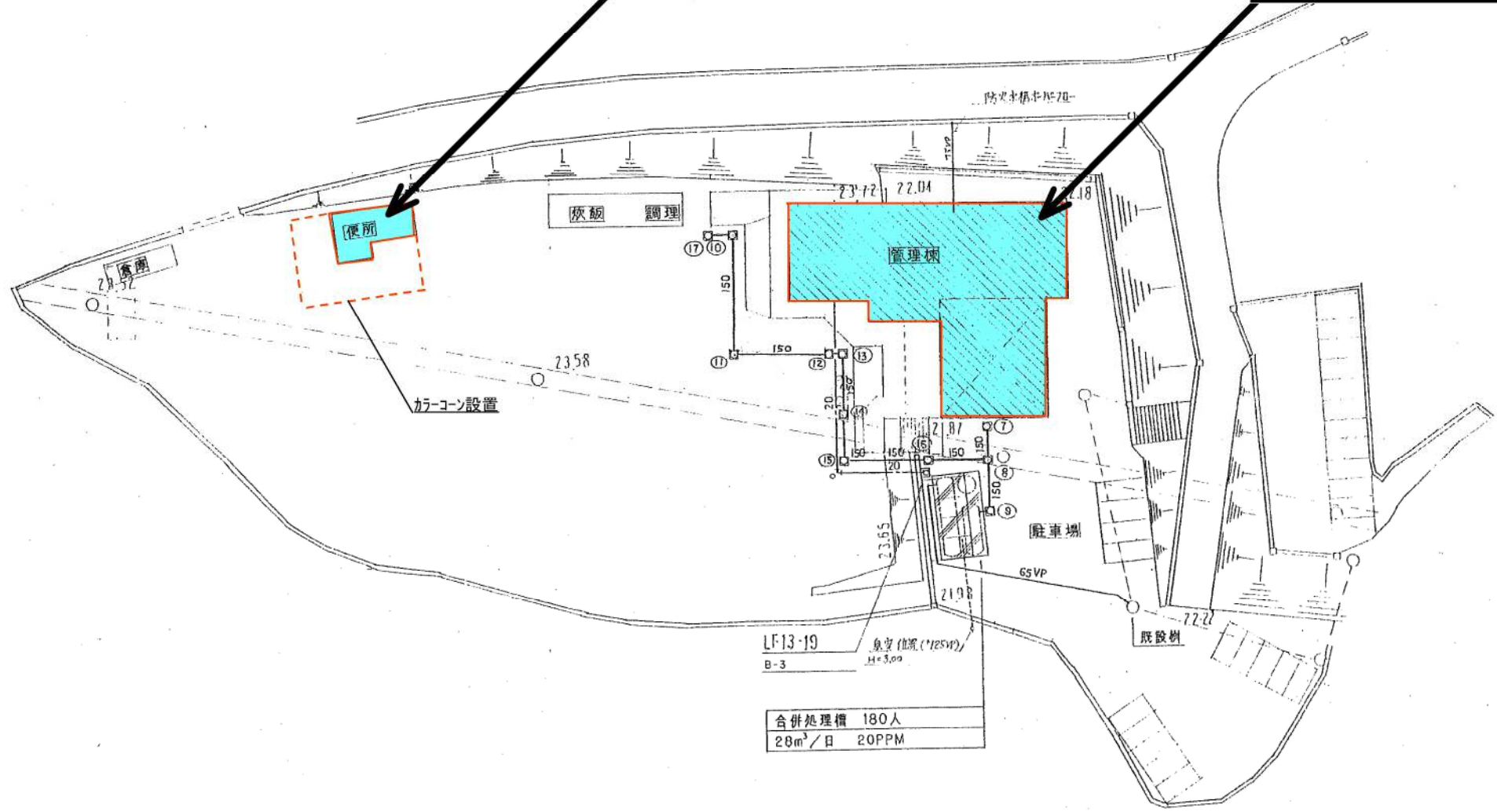
グリーストラップ詳細図

	年度 7	工事名 周防の森ログジトイレ改修工事	機械設備特記仕様書 (4)	M4
	光市建設部建築住宅課	一級建築士登録 第 号	設計変更 回	
		印		



工事概要：便所棟	
男子トイレ	女子トイレ
既設トイレ撤去	既設トイレ撤去
既設和式便器撤去 4箇所	既設和式便器撤去 6箇所
土間コンクリート撤去 タイル共	土間コンクリート撤去 タイル共
土間コンクリート復旧 タイル・配筋共 Fc-21-S15-20、D10@200、差筋7ヶ所	土間コンクリート復旧 タイル・配筋共 Fc-21-S15-20、D10@200、差筋7ヶ所
洋式便器設置 4箇所 CS670B、CS670BA、TC300、YH702同等品	洋式便器設置 6箇所 CS670B、CS670BA、TC300、YH702同等品
L型手摺設置 3箇所 T112CL10 同等品	L型手摺設置 5箇所 T112CL10 同等品
給水管切断・接続	給水管切断・接続
排水管切断・接続	排水管切断・接続
トイレ新設及び既設トイレ撤去跡補修	トイレ新設及び既設トイレ撤去跡補修
	窓枠塞ぎ

工事概要：管理棟	
男子トイレ	女子トイレ
既設トイレ撤去	既設トイレ撤去
既設和式便器撤去 1箇所	既設和式便器撤去 2箇所
スラブコンクリート撤去 タイル共	スラブコンクリート撤去 タイル共
スラブコンクリート復旧 タイル・配筋・防水補修共 Fc-21-S15-20、D10@150、差筋7ヶ所	スラブコンクリート復旧 タイル・配筋・防水補修共 Fc-21-S15-20、D10@150、差筋7ヶ所
洋式便器設置 1箇所 CS670B、CS670BA、TC300、YH702同等品	洋式便器設置 2箇所 CS670B、CS670BA、TC300、YH702同等品
	L型手摺設置 2箇所 T112CL10 同等品
給水管切断・接続	給水管切断・接続
排水管切断・接続	排水管切断・接続
トイレ新設及び既設トイレ撤去跡補修	トイレ新設及び既設トイレ撤去跡補修
	窓枠塞ぎ

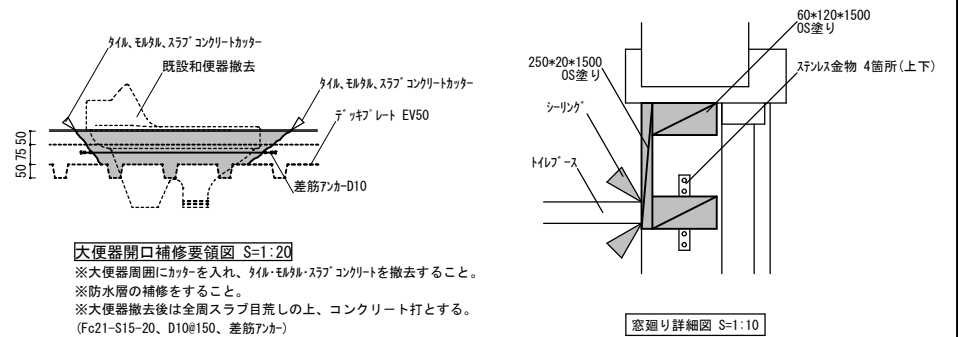
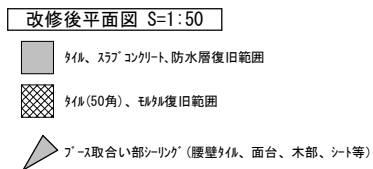
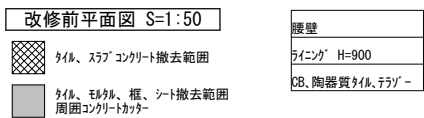


合併処理槽 180人
28m³/日 20PPM

配置図 S=1/500

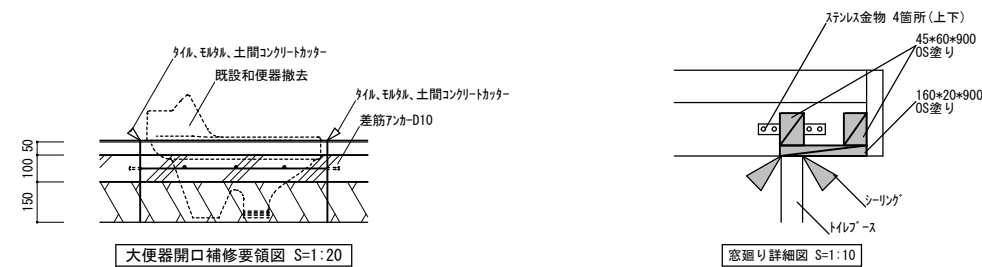
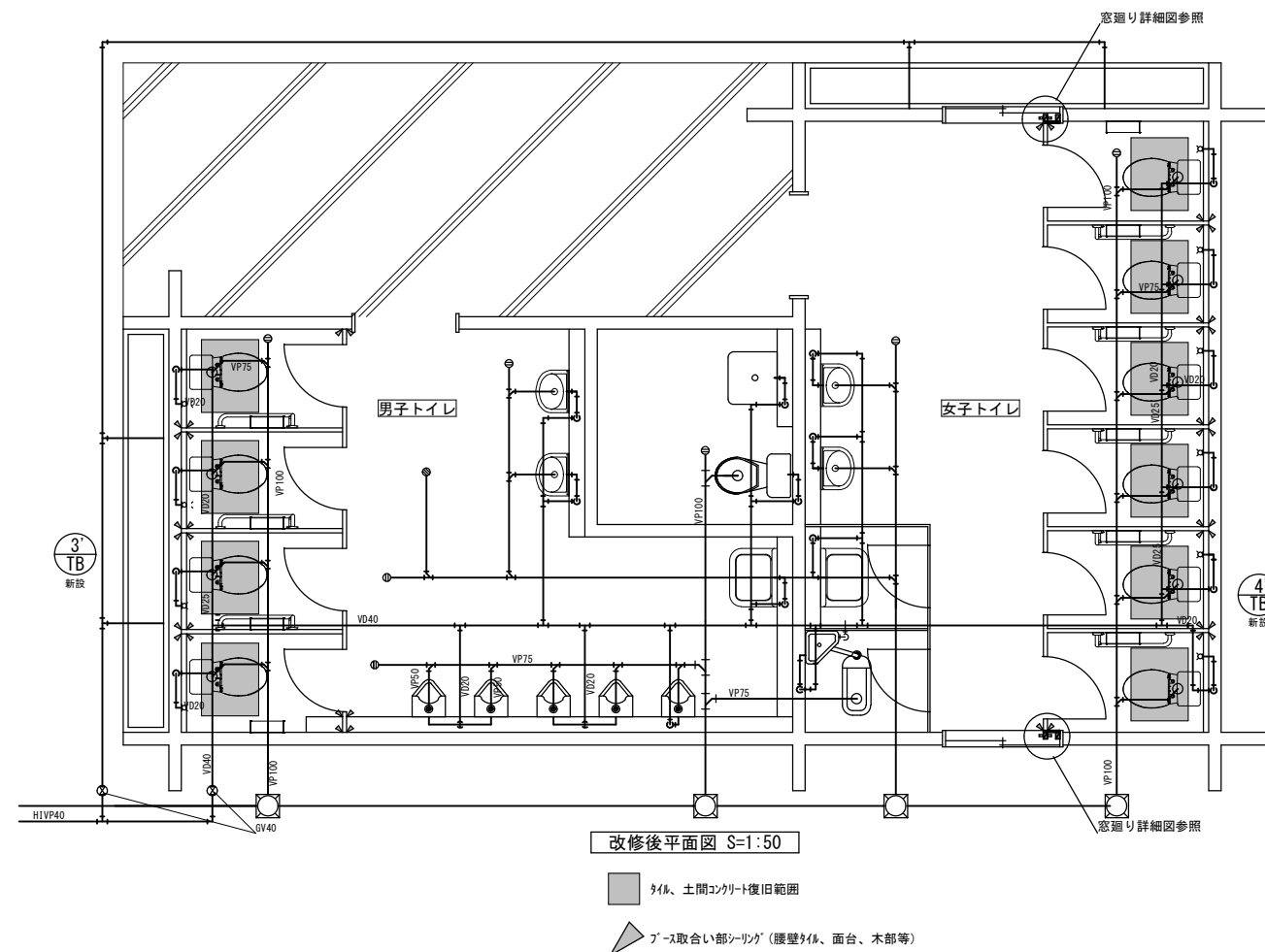
○印～埋設配管標示柱

工事名 周防の森ロッジトイレ改修工事					Nr
種別 配置図					5
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺 1/500
級建築士登録第 号					
部長	課長	係長	製図	写図	6月11日



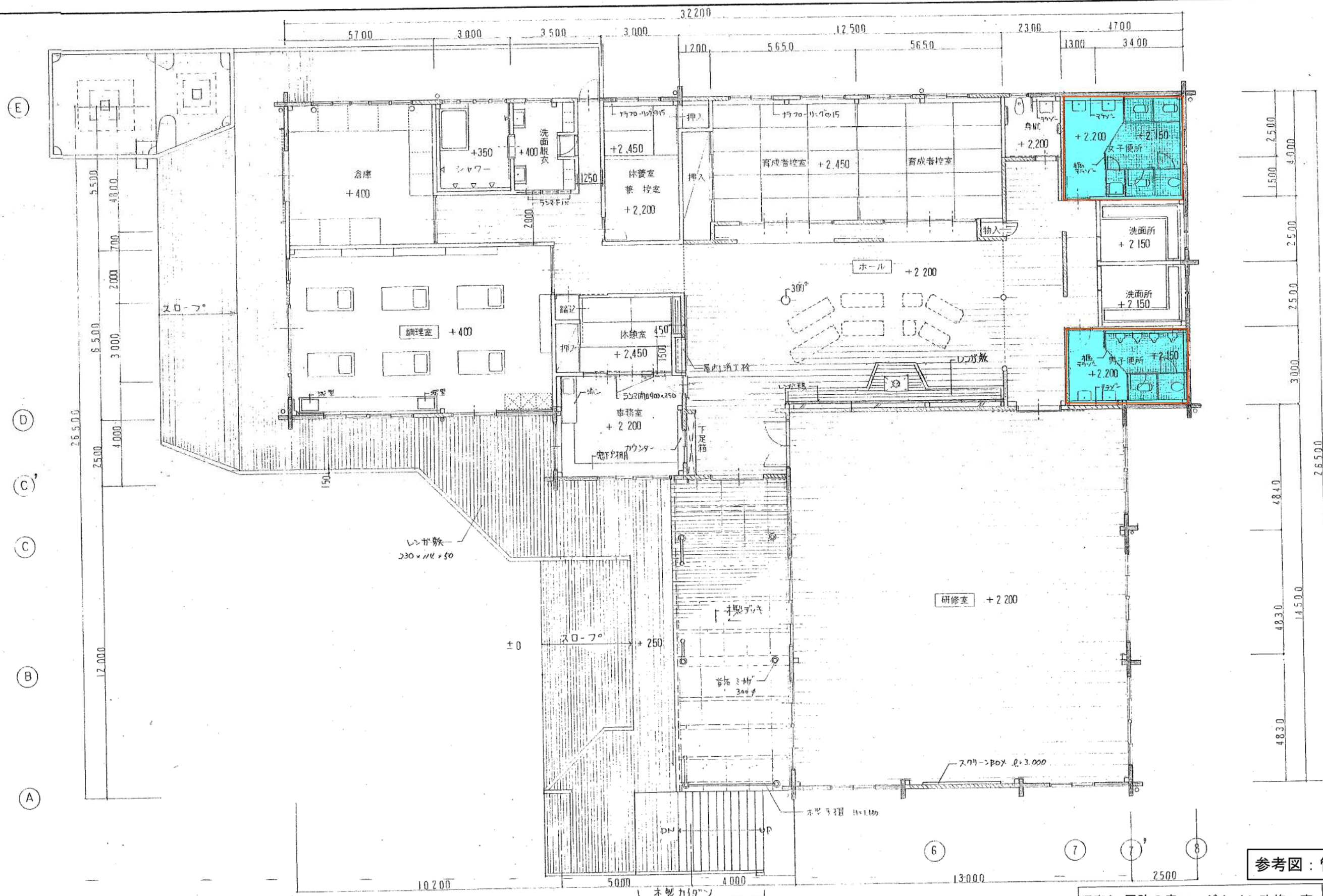
器具表	
洋風便器	CS670B, SH670BA, TC300 同等品
紙巻き器	YH702 同等品
L型手摺	T112CL10 同等品 取付金具含む

	年度	工事名		
	7	周防の森ロッシトイレ改修工事	【改修前後】平面図（管理棟）	6
	光市建設部建築住宅課	一級建築士登録 第 号 印	設計変更 回	縮尺 1:50



器具表	
洋風便器	CS670B、SH670BA、TC300 同等品
紙巻き器	YH702 同等品
L型手摺	T112CL10 同等品 取付金具含む

	年度 7	工 事 名 周防の森ロジイトイレ改修工事	【改修前後】平面図（便所棟）	7
	光市建設部建築住宅課	一級建築士登録 第 号 印	設計変更 回	縮尺 1:50



2階平面図 1:100

参考図：管理棟

工事名	周防の森ロッジトイレ改修工事			110
種別	2階平面図			8
設計	光市建設部建築住宅課			縮尺 1/100
	税建第士登録照 号			
部長	課長	係長	製図	写図
				月 日

記号	形式	数量	⑥ AW	4連ガラス可動窓	1	⑦ AW	2連ガラス可動窓	1	⑧ AW	アルミ引違い窓	4	⑨ AW	ガラス可動窓	1	⑩ AW	ハメ殺し付き外倒し窓	2	⑪ AW	ハメ殺し付き外倒し窓	2			
姿図																							
材料仕上	見込	アルミカラー		70	アルミカラー		70	アルミカラー		70	アルミカラー		70	アルミカラー		70	アルミカラー		70				
金物	標準金物一式																						
硝子	備考	型 t=6		シャワー	型 t=6		洗面脱衣	型 t=4		便所 洗面所	型 t=6		身障者便所	70+t=5		ホール	70+t=5		研修室				
記号	形式	数量	① WD	引違い戸	2	② WD	引き分け戸	1	③ WD	片開き戸	3	④ WD	片開き戸	2	⑤ WD	片開きフラッシュ戸	1	⑥ WD	片引き戸	1	⑦ WD	引違い窓	1
姿図																							
材料仕上	見込	銘木合板 t=5.5		36	同左		36	同左		36	同左		36	同左		36	スプルース		36	同左		36	
金物	引違い戸用錠、アルミフラットレール																						
硝子	備考	型 t=4		調理室	型 t=4		研修室	型 t=4		事務室、休憩室	型 t=4		男子、女子便所	型 t=4		育成者控室	型 t=4		事務室	型 t=4		事務室	
記号	形式	数量	① F	引違いフスマ	1	② F	引違いフスマ	1	③ F	片引きフスマ	1	④ F	引違いフスマ	1	⑤ F	引違いフスマ戸	1	⑥ F	片引きフスマ戸	1	⑦ F	引違い障子戸	2
姿図																							
材料仕上	見込	新島ノ子		21	新島ノ子		21	同左		21	同左		21	新島ノ子 銘木合板		21	同左		21	スプルース		36	
金物	引手、敷居スベリ																						
硝子	備考			育成者控室			育成者控室			休憩室兼控室			休憩室			休憩室			休憩室			引手、戸車、障子紙	
記号	形式	数量	② S	引違い障子戸	4	⑦ WD	片開き戸	1	⑧ WD	片引ハンガー戸	1	トイレブース		1	① TB	トイレブース	1	② TB	トイレブース	1	アルミスクリーン		1
姿図																							
材料仕上	見込	スプルース		36	銘木合板 t=5.5		36	焼付け塗装鋼板		20	ダップ化粧板パネル		20	ダップ化粧板パネル		20	ダップ化粧板パネル		20	同左		20	
金物	引手、戸車、障子紙																						
硝子	備考			育成者控室	型 t=4		研修室			身障者便所	女子便所		女子便所		男子便所		男子便所		男子便所		男子便所		

参考図：管理棟

工事名 周防の森ロッジトイレ改修工事

種別 建具表(2)

設計 光市建設部建築住宅課

部長 課長 係長 製図 写図

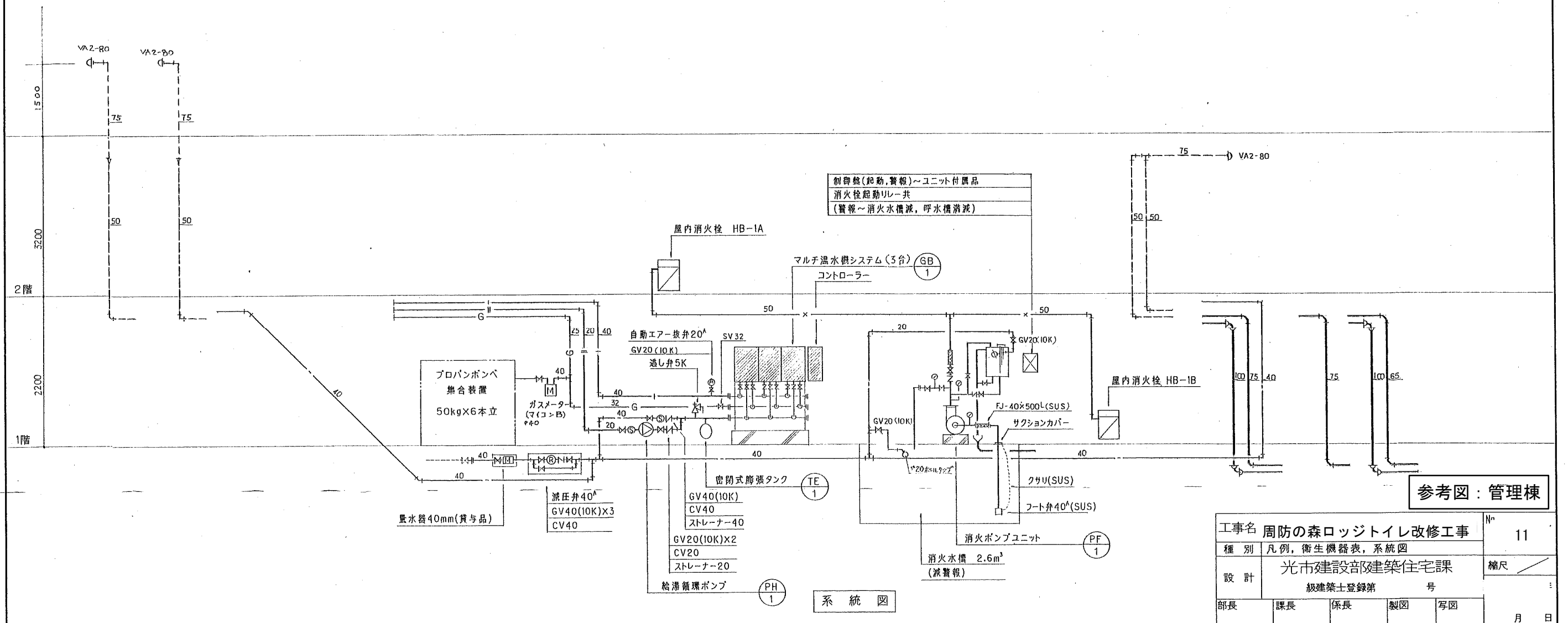
No 10

縮尺

月 日

[illegible]

記 号	名 称	仕 様	備 考	台 数
GB 1	マルチ温水器システム	屋外設置ガス瞬間湯沸器30号×3台設置(90号), プロパンガス用	コンクリート基礎 GL+150 ^H	1
		メインコントローラー(メインリモコン共), 掛け台セット, メインリモコン用コード	アンカーボルトはSUS	
		逃し弁 5kg/cm ² , 配管ヘッダー, メンテナンスバルブ	メインリモコンは事務室に設置	
		参考~(TP-WQ305MR×3, TP-MC2(TP-MR45)×1, TP-SOD4×1, TP-MCC×1)		
PH 1	給湯循環ポンプ	うず巻ラインポンプ, 全閉モートル, ステンレス製		1
		20 ^A ×10 ^Q /min×9m×0.15kw×1φ100V		
		防滴カバー		
		(鉄板等にて防雨カバーを設置)		
TE 1	膨張タンク	密閉式膨張タンク, 給湯用, タンク容量 15 ^Q , 有効容量 5 ^Q		1
		最高使用温度 80℃, 最高使用圧力 5kg/cm ² , 銅板製		
PF 1	消火ポンプユニット	40φ×150 ^Q /min×28m×2.2kw×3φ200V	コンクリート基礎 150 ^H	1
		(呼水機, 制御盤付) 消火栓起動リレー共		
		GV, CV, FJ, 圧力計, 遠伝計, フート弁(SUS), SUSクサリ, サクションカバー		



衛生器具表

名 称	品 番	備 考	数
和 風 大 便 器	C-752R	DT-570 DTF-570UF-32 CF-103BB CF-171D-32BL CF-115-1 CF-22HP (紙巻器)	4
洋 風 大 便 器	DC-1510S	C-110S, DT-1510S CF-22H (紙巻器)	2
身 障 者 用 便 器	C-5K	DT-523 DTF-523F(AY) CF-25-3B CF-3C CF-4AW CF-5AK CF-12C (紙巻器)	1
掃 除 用 流 し	S-202A	LF-7E-19 SF-20SF SF-10E(AY)	1
小 便 器	AWU-802AM	US-一体形小便器 (AC100V) センリー 一体形ストール小便器	4
洗 面 器	L-146P	LF-2PB LF-3 LF-5PA LF-6L SF-10E KF-24B (水石ケン入) KF-354S (化粧鏡)	4
〃	L-364AG	LF-1Z LF-4PAL LF-260K SF-45E(AY) LF-615K(AY) KF-456D ZK (黒明付傾斜鏡)	1
手 ス リ	KF820WIL(600)		1
〃	KF425WI (550)		1
〃	KF810WI (400)		1

樹リスト

番 号	名 称	寸 法	深 さ (GL-管底)	蓋	材 質	備 考
A	排 水 た め 樹	350×350	850	MHA-350	コンクリート角樹	RC-1
1	インバート樹	350×350	480	MHA-350	〃	SC-1
2	〃	〃	510	〃	〃	〃
3	〃	〃	600	〃	〃	〃
4	〃	〃	640	〃	〃	〃
5	〃	450×450	710	MHA-450	〃	SC-2
6	〃	600×600	930	MHA-600	〃	SC-3
7	〃	〃	1010	〃	〃	〃
8	〃	〃	1020	〃	〃	〃
9	〃	〃	1060	〃	〃	〃
10	〃	〃	1310	〃	〃	〃
11	〃	900φ	1460	MHA-600	コンクリート丸樹	SC-4
12	〃	〃	1760	〃	〃	〃
13	〃	〃	1820	〃	〃	〃
14	〃	〃	1880	〃	〃	〃
15	〃	〃	1900	〃	〃	〃
16	〃	450×450	580	MHA-450	コンクリート角樹	SC-2
17	〃	600×600	1170	MHA-600	〃	SC-3

屋外排水管勾配=1/100

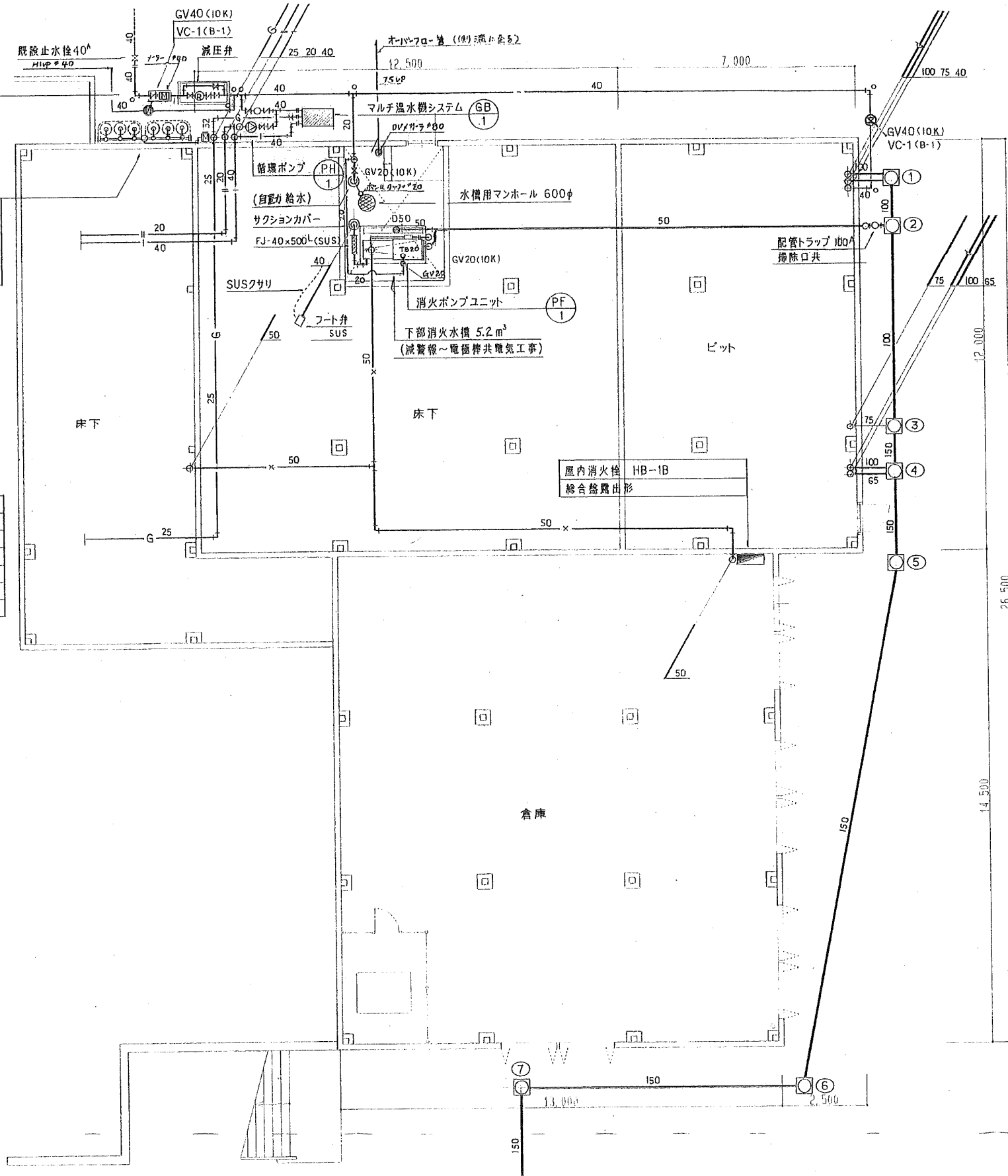
参考図：管理棟

工事名 周防の森ロジットイレ改修工事					No 12	
種 別	衛生器具表, 樹リスト					縮尺
設 計	光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号					
部長	課長	係長	製図	写図	月 日	

減水器40mm(借入品)
止水栓 40 ^A
減水器ボックス MC-1
(減水器負担金は別途工事)

プロパンボンベ集合装置
50kg×6本立(3本+3本)自動切替
(建設省標準図参照)
ガスメーター(マイコン)~借入品
メーターコック 40 ^A

減圧弁~8kg/cm ² →3kg/cm ²
減圧弁 40 ^A
GV40(10K)×3
CV40
圧力計×2
点検ボックス~1000×600×600 ^H
鉄板蓋共

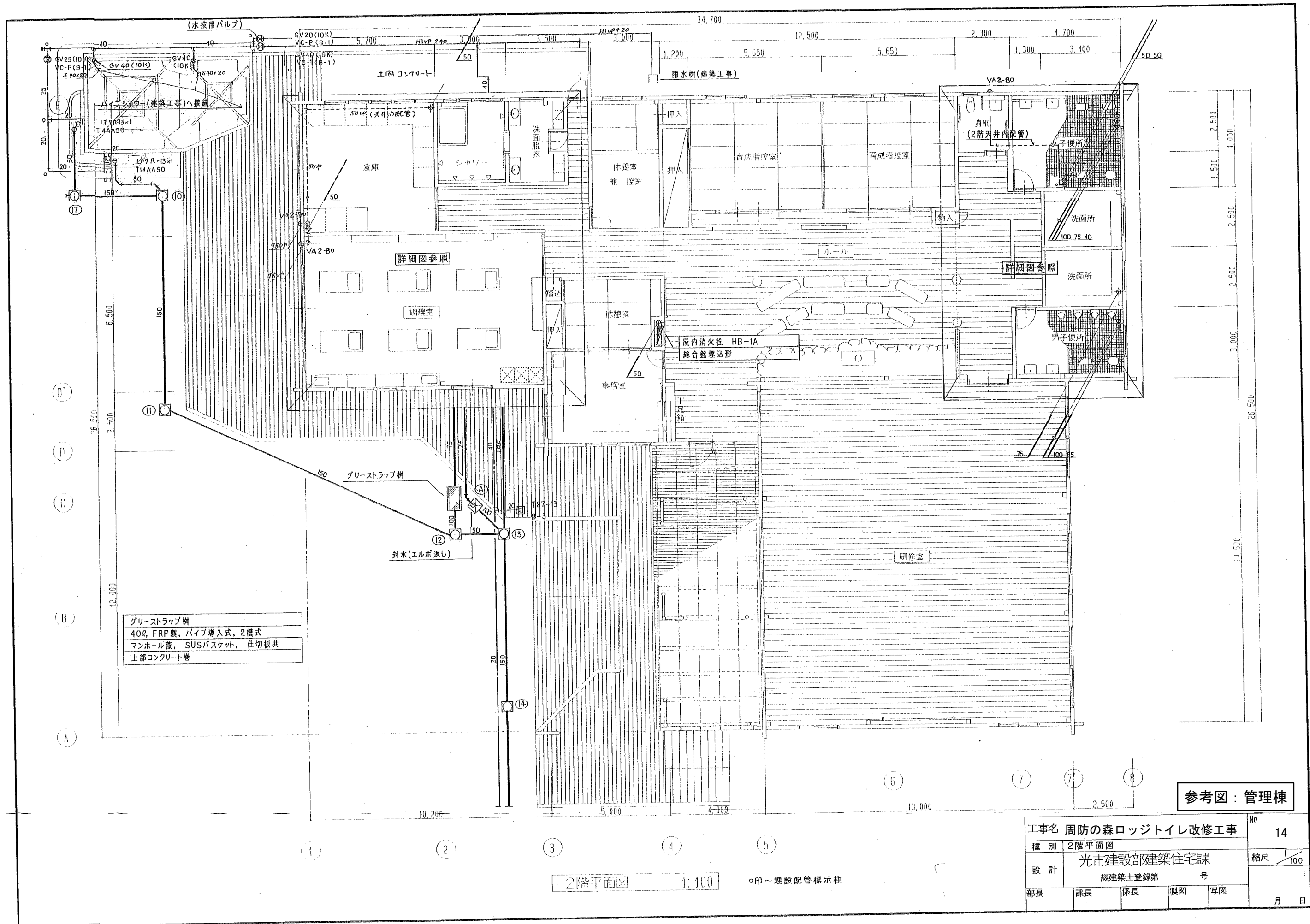


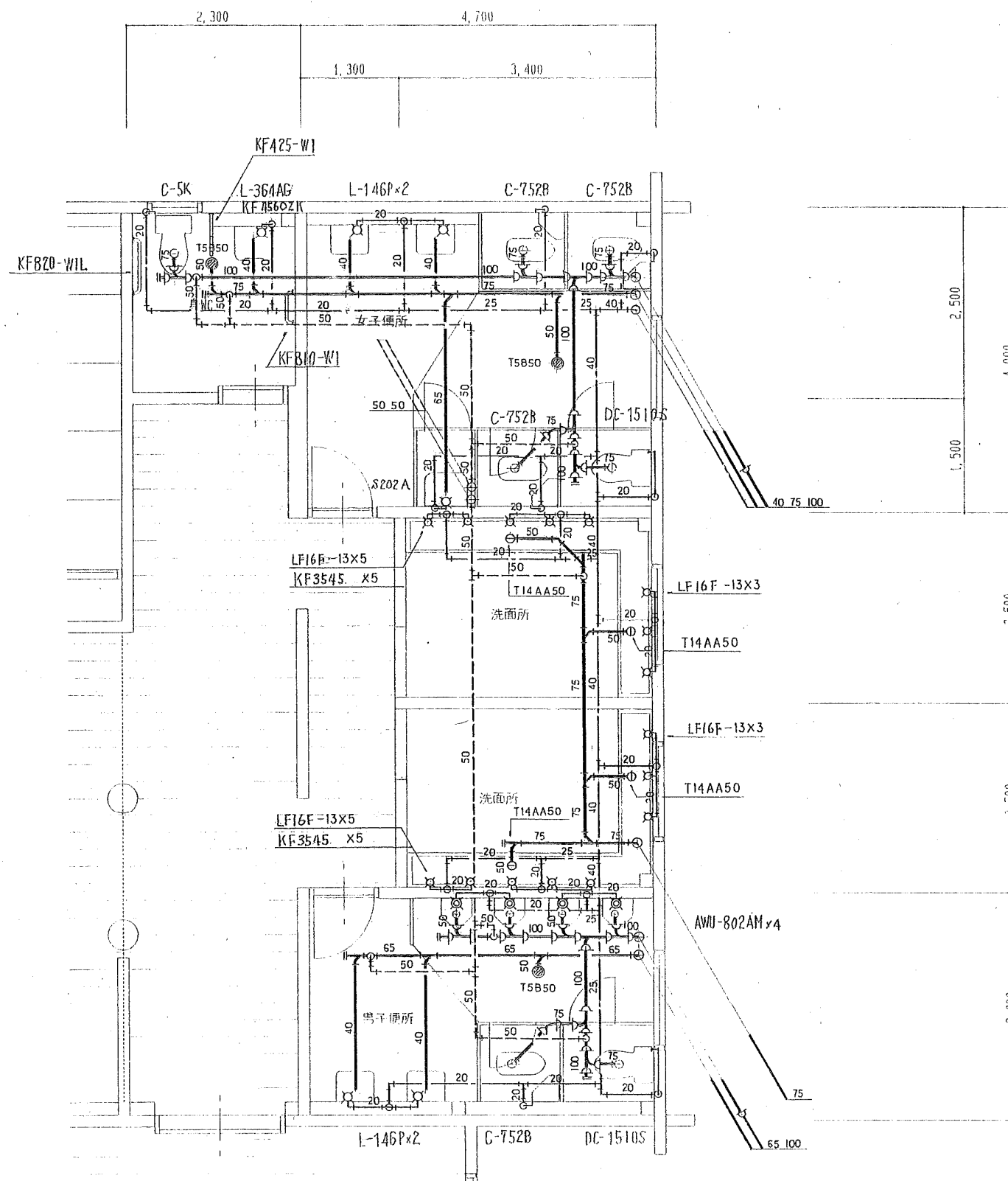
1階平面図 1:100

○印~埋設配管標示柱

参考図：管理棟

工事名 周防の森ロジックイレ改修工事					No
種別	1階平面図				13
設計	光市建設部建築住宅課				縮尺 1/100
	級建築士登録第 号				
部長	課長	係長	製図	写図	月 日

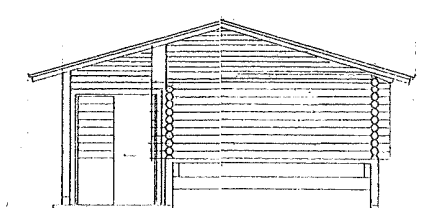
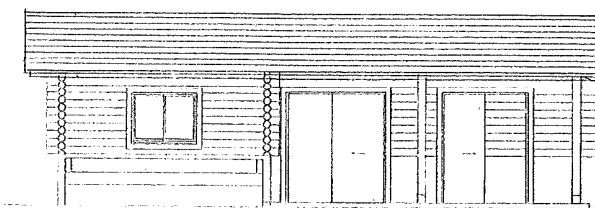
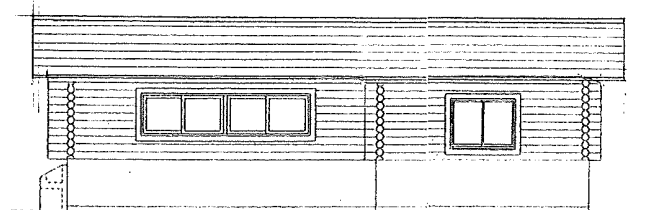
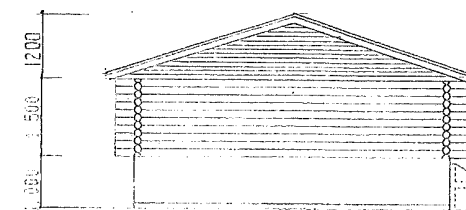
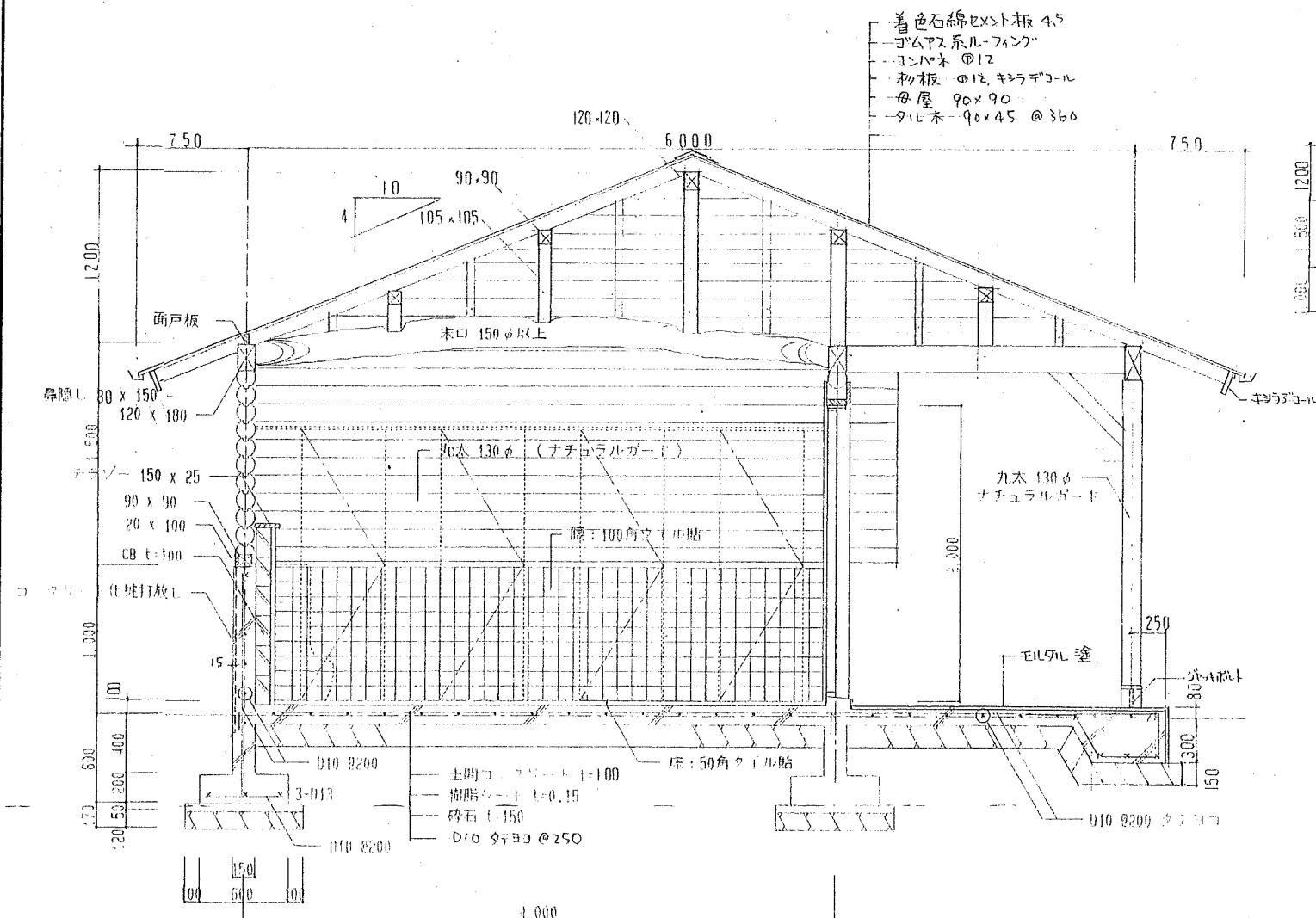
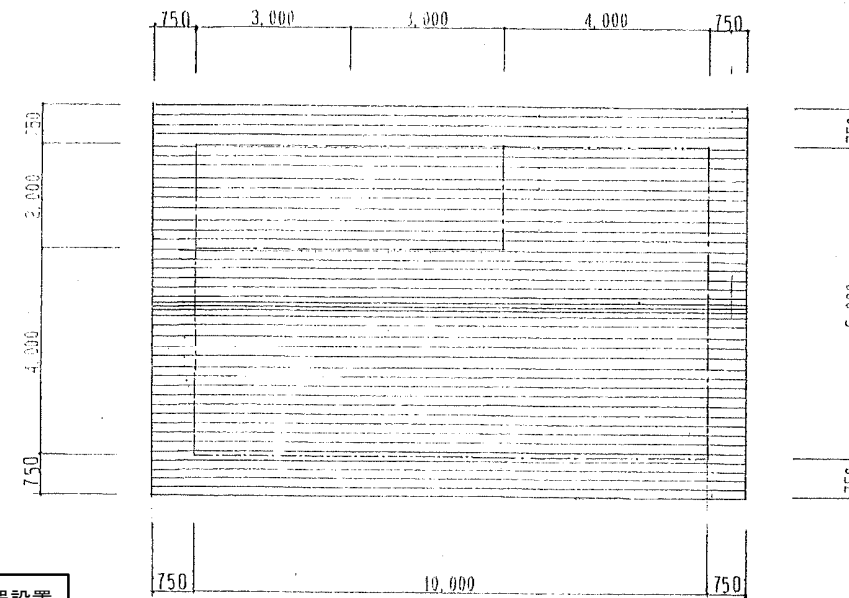
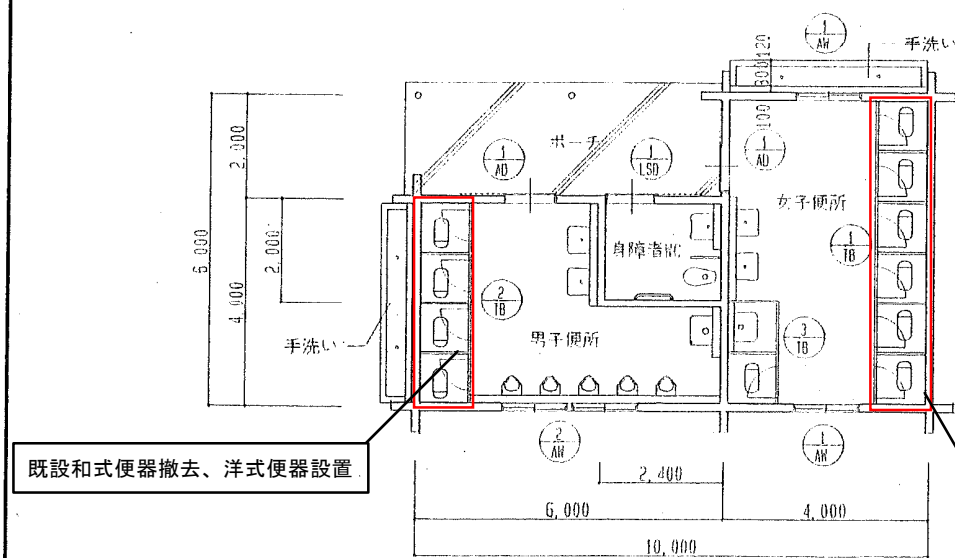




便所詳細図 S=1/50

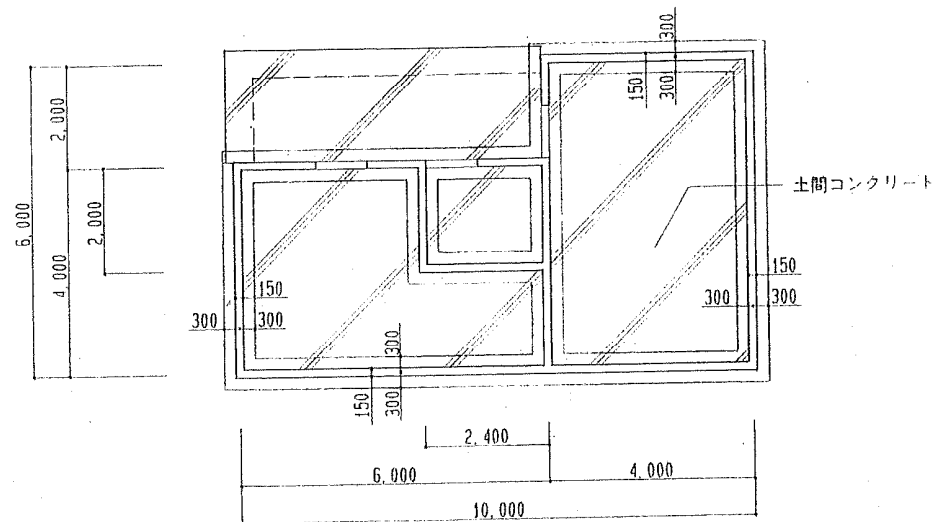
参考図：管理棟

工事名：周防の森ロジトイレ改修工事					No	15
種別	便所詳細図				縮尺	1/50
設計	光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号				月 日	
部長	課長	係長	製図	写図		

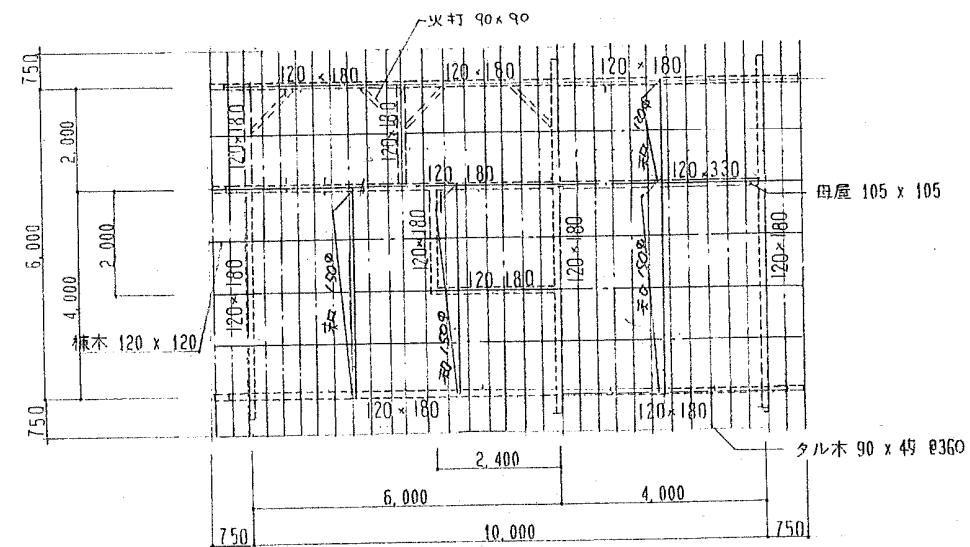


参考図：便所棟

工事名 周防の森ロジイトイレ改修工事					No. 16
種 別		便所棟			縮尺
設 計		光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号			
部長	課長	係長	製図	写図	月 日



基礎図 1:100



小屋伏図 1:100

建具表一般事項

記号	種別	ガラスの符号と種類	記号	形式	数量	①	アルミ引違い戸	2	②	アルミ2連引違い戸	1	③	アルミ片引き戸	2	④	軽量スチール引き戸	1	⑤		
SD	スチール製扉	網入型	網入型板ガラス																	
AD	アルミ製扉	フロート	フロート板ガラス																	
AW	アルミ製窓																			
LSD	軽量スチール製扉	型	型板ガラス																	
D	その他扉	線入	線入ミガキガラス																	
TB	トイレブース	F	FIX部分																	
金物の符号と種類																				
DC	ドアチェック																			
FH	フロアヒンジ																			
PH	ピボットヒンジ																			
CL	シリンドー錠																			

建具工事特記事項

- ・鋼製建具は全て施工図作成の上、監督員の承認を得た後製作のこと。
- ・建具金物は原則としてステンレス製とし、見本品提出の上、監督員の承認を得ること。
- ・木製建具の製作に当たっては全て現場実測の上製作のこと。
- ・開き扉の戸当りはアオリ止め付きとする。
- ・ドアチェックは特記なき限りストッパー付きとし、バラレル型とする。
- ・外部廻りはコーキング詰、10x7、コーキングの種類は特記による。
- ・把手取付高さは原則として、床より1000mm（把手の中心）を標準とする。
- ・アルミサッシの金物類は特記なき限り付属金物一式とする。
- ・外部廻りアルミ製建具は全て2重水切付きとし寸法は特記による。
- ・アルミ製建具は特記なき限り全てカラーとする。
- ・出入口踏踏は特記なき限りステンレスSUS304 t=2.0とする。
- ・マスターキーは 系統とする。尚、グラントマスターキーは 系統とする。
- ・水廻りに使用する建具はラワン合板 T-1とする。
- ・AW, AG, ADのコンクリート及びモルタルに接する部分はアルカリ絶縁塗装を行うこと。
- ・外部アルミサッシはステンレス製網戸取り付けのこと。

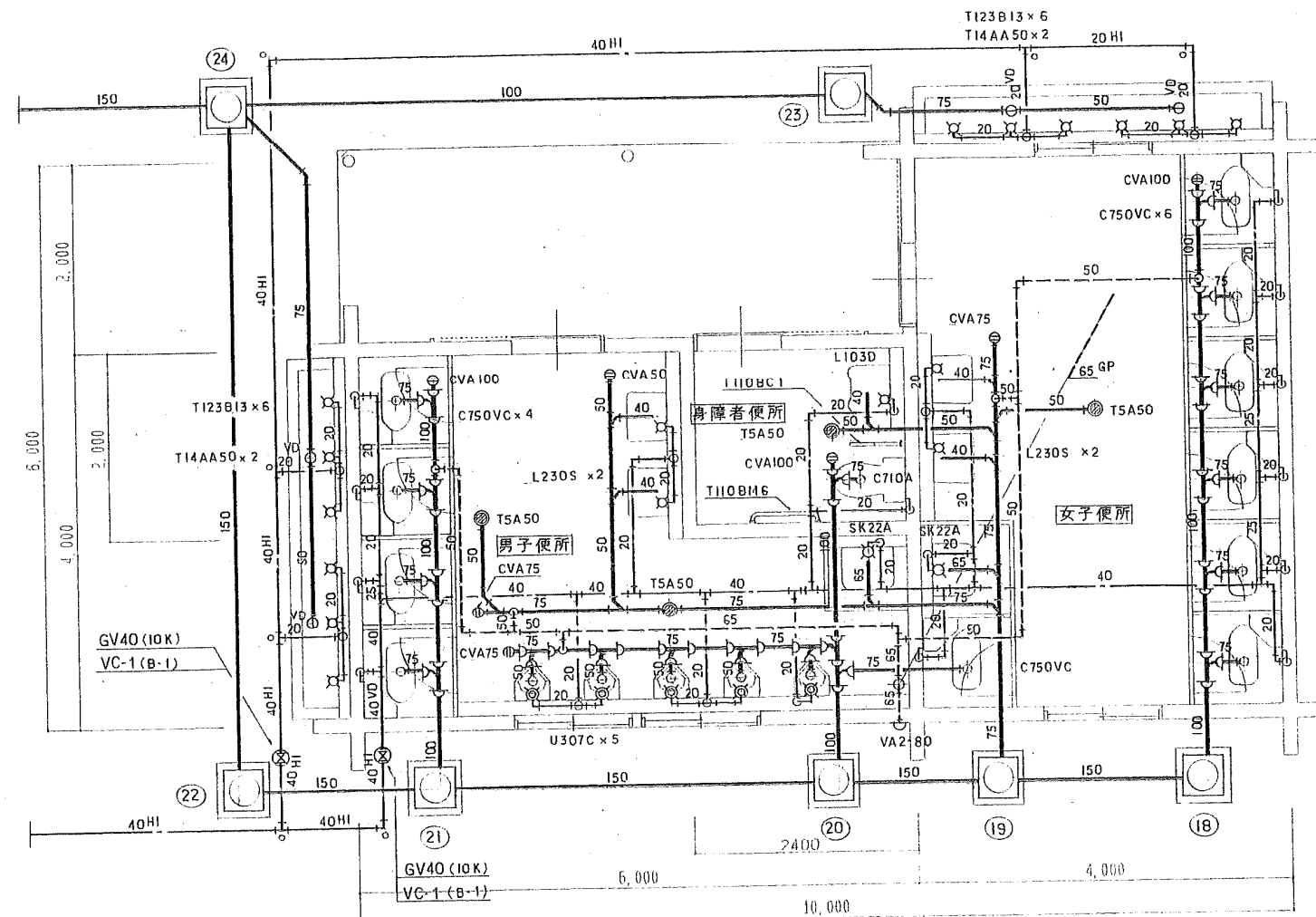
硝子	備考	型 t=4.0	女子・男子便所	型 t=4.0	男子便所	女子・男子便所	身障者便所					
記号	形式	数量	④ TB	撤去	トイレブース	1	③ TB	撤去	トイレブース	1		
姿図												
	ダップ化粧板パネル					20	ダップ化粧板パネル					20
	標準金物一式、ラバトリーヒンジ、戸当たり						標準金物一式、ラバトリーヒンジ、戸当たり					
硝子	備考	女子便所					男子便所					
記号	形式	数量	①			②						

参考図：便所棟

工事名 周防の森ログジトイレ改修工事					No.	17
種別	便所棟 小屋伏図・基礎伏図・建具表					
設計	光市建設部建築住宅課					縮尺
	級建築士登録第 号					
部長	課長	係長	製図	写図		

参考図：便所棟

工事名	周防の森ログジトイレ改修工事				No.	17
種別	便所棟 小屋伏図・基礎伏図・建具表				縮尺	
設計	光市建設部建築住宅課					
	級建築士登録第 号					
部長	課長	係長	製図	写図		
						月



衛生器具表

名	称	品	番	備	考	数
和風大便器	C750VC	(掃除口付)		S570B, TS750ZS32, T82C32, TS570D, T56H5		11
小便器	U307C			TS670FZS, TS116MK(紙巻器)		5
身障者用便器	C710A			T660PN, T62-16, T64FWN		1
掃除用流し	SK22A			S710B, TS710ZSQ, TC272N, T53DSAY, T53WR75		2
洗面器	L230S			TS116MK(紙巻器)		4
//	L103D			TK22, T37SN, T23AE20, T9R		1
手スリ	TH10BC1			T205, T6P, T4A, TL220DAY		1
//	TH10BM6			TS119AE3(化粧鏡), TS126AR(水石ケン入)		1
				T205Q, TL340CR, TL103BG, TL220DAY		
				LM531 (風明仕鏡斜鏡)		
				TH10D3X2		
				TH10D3X2		

○和風大便器(C750VC)～TOTOを使用の場合掃除口とトイレブスの位置関係に注意のこと

便所棟平面図 S=1/50

- ○印～埋設配管標示柱
- 露出通気管は白ガス管(塗装仕上げ)
- T123B13は吊コマ式

参考図：便所棟

工事名	周防の森ログジトイレ改修工事				No.	18
種別	便所棟平面図				縮尺	1/50
設計	光市建設部建築住宅課					
	級建築士登録第 号					
部長	課長	係長	製図	写図	月	日